

第五十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第十號

昭和四年二月五日(火曜日)

午前十時二十一分開議

議事日程 第十號 昭和四年二月五日

午前十時開議

一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第八日)

二 明治四十年法律第十一號中改正法律案(政府提出)

第一讀ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、小倉子爵病氣ニ付キ二十四日間、德富君旅行ニ付キ二十四日間、伊澤平左衛門君病氣ニ付キ十一日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、何レモ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 前會ヨリ引續イテ居リマス國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ發言ヲ許シマス、幣原男爵

〔男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○男爵幣原喜重郎君 去ル土曜日ニ私ノ質疑ニ對スル外務大臣ノ御答辯ヲ拜聽イタシタノデアリマスガ、私ノ提出セル問題ニ對シテ全ク御答辯ノナカッタ所モアリマス、又御答辯ガアッテモ其御趣旨ヲ了解シ得ラレナカッタ所モ多イノデアリマス、併ナガラ此處ニ一々之ヲ指摘イタシマシテ質疑ヲ重ネマスト、自然長時間ニ互リマスルカ成ルベク之ヲ差控ヘマシテ、短簡ニ數箇ノ點

ニ付テ再質疑ヲ致シタイノデアリマス、私ノ質疑ノ第一問題ニ付キマシテハ、外務大臣ハ所謂強硬政策並積極政策ナルモノヲ絕對ニ否認セラレタルモノト解シマス、從テ政府部内ニ於テモ亦政府ノ與黨内ニ於テモ、是等ノ政策ヲ現内閣ノ執ッテ居ラル、對支方針ノ特色ナリトシテ、徹頭徹尾之ニ依ッテ一本調子ニ進ンデ行ク覺悟ガアルカノ如ク揚言セラレタル人々ハ、政府ノ趣旨デナキモノヲ政府ノ趣旨ナリト臆斷セラレタル人々ハ、是ガ爲ニ徒ニ内外ノ疑惑ヲ招キ、帝國ノ對外關係ニ累ヲ及ボサレタル責任ハ極メテ重大デアルト申サナケレバナリマセヌ、質疑ノ第二問題即チ滿洲ニ於ケル我國ノ地位ニ關スル問題ニ付キマシテハ、外務大臣ノ御答辯ハ私ノ質疑ノ趣旨ヲ能ク御了解ニナラナカッタノデハナイカト考ヘラレマス、政府ハ我が居留民保護ノ爲デハナク又我が權利利益ヲ擁護スル爲デモナク、唯滿洲地方ノ靜謐ヲ亂ス事態ガ發生シタカラト云ッテ、其狀況、事態ニ依ッテハ我國ノ力ヲ以テ斯カル事態ヲ排除スルノ覺悟ヲ持ッテ居ラレルノデアルカ、去ル二十二日外務大臣ノ御演說ニ依リマスレバ、政府ニ此覺悟ガアルモノト解セザルヲ得マセヌ、果シテ然ラハ斯カル事態ガ發生シタル場合ニ、如何ナル名義ニ依リ、如何ナル措置ヲ執リ得ラル、ノデアリマスカ、是ガ私ノ疑ヲ質サントシタル一ノ要點デアッタノデアリマス、更ニ具體的ニ私ノ質疑ノ要旨ヲ言換ヘマスレバ、我が權利利益ノ擁護ノ爲デハナク其目的以外ニ於テ、單ニ支那ノ治安ヲ維持スル目的ノ爲ニ我兵力ノ使用ハ許サルベキモノナリヤ否ヤ、此問題デアリマス、此點ニ對シマシテ政府ハ肯定セラレルカ、否定セラレルカ、何レナリトモ簡明ナル御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス、質疑ノ第三問題、即チ張學良氏ニ對スル南北妥協ノ延期忠告事件ニ付キマシテハ、外務大臣ハ其忠告以前ニ、國民政府ハ歐洲ノ……歐羅巴ノ數箇國ニ對シ、一方的意思ヲ以テ通商條約ヲ破棄セル實例ガアッタカラ、我國ニモ恐ラクバ同一ノ筆法ヲ以テ臨ンデ來ルデアラウト豫想セラレタルモノノ如キ御答辯ガアリマシタ、政府ハ若シ斯カル豫想ヲ基礎トシテ南北妥協ノ延期ヲ求メラレタモノデアリマスルナラバ、其豫想ノ的中セル今日ニ於キマシテハ、益、強硬ニ南北妥協ノ成立ニ反對サレナケレバ筋道ガ一

貫シナイノデハアリマスマイカ、豫想通りニ國民政府ハ現行日支通商條約ノ效力消滅ヲ主張セル公文ヲ送ッテ參ッタノデアル、政府ハ一應其主張ニ抗議セラレマシタガ、國民政府ハ之ニ答ヘタル第二回ノ公文ニ於キマシテハ未ダ最初ノ主張ヲ捨テテ居リマセス、現行條約ノ效力問題ハ其儘ニナッテ居ルノデアリマス、他ノ一方ニ於キマシテ張學良氏ハ既ニ國民政府ノ要職ニ任ゼラレ、青天白日旗ハ今ヤ東三省ニモ懸ッテ居ルノデアル、政府ハ國民政府ガ追ッテ一方の意思ヲ以テ日支通商條約ヲ破棄スルカモ知レナイト云フ豫想ダケデ、直チニ南北妥協ノ延期ヲ求メラレナガラ、愈國民政府ガ豫想通りニ現行日支通商條約ノ效力消滅ヲ主張セル今日ニ至ッテ、平然トシテ南北妥協ノ成立ヲ傍觀シテ居ラレルノハ何故デアリマスカ、若シ其忠告ノ當時ト今日トハ事態ガ一變イタシテ居ルト云フコトデアリマスルナラバ、其事態ハ果シテ如何ナル方尙ニ向ッテ一轉シタノデアリマスカ、固ヨリ國民政府ガ近頃、五院制度ヲ確立シ、追々建設の事業ニ著手スルニ至ッタコトハ顯著ナル事態ノ變遷トモ言ヒ得ルデアリマセウ、併ナガラ其事實ト東三省ニ於ケル我が權利利益ノ保障トハ如何ナル關係ガアリマスカ、國民政府ガ内部ノ政治組織ヲ完備シ、追々建設の事業ニ著手スルニ至ッタカラト云ッテ、之ガ爲ニ當然東三省ニ於ケル我が權利利益ヲ尊重スルモノト斷定出來マスカ、斯ノ如ク考ヘマスレバ南北妥協問題ニ對スル政府ノ方針ハ甚ダ不徹底デ前後矛盾シタル所ガアルヤウニ思ハレマスルガ、外務大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、又今日ニ於キマシテハ政府ハ南北ノ完全ナル統一ニ御異議ガ有ルノカ無イノカト云フ點ニ付キマシテモ御答辯ガ無カッタノデアリマスルカラ、更ニ御確メ致シタイノデアリマス、第四ノ山東出兵問題ニ對スル御答辯ハ私ニハ能ク了解シ得ラレナカッタノデアリマス、濟南ニ於キマシテハ我が居留民中、十數名ノ虐殺凌辱ヲ受ケタル者ガアリ、又財貨ヲ掠奪セラレタル者ハ頗ル多數ニ上ボッテ居ルト考ヘマス、私ハ其正確ナル本邦人ノ被害ノ件數ハ承知イタシマセヌケレドモ、百數十件ニモ達シタト傳ヘラレテ居ル、外務大臣ハ其中ニ虐殺凌辱ヲ受ケタル者ハ我軍ノ制止セルニモ拘ラズ警備地域以外ニ留マツタルガ爲ニ遭難シタノデアルト言ハ

レ、恰モ本人ノ自業自得デモアルカノ如キ御答辯ガアリマシタ、斯ノ如キ政府ノ態度ハ餘リニ冷酷デハナイカト云フ感ジラ免レマセヌ、一體、司令官ガ警備地域ヲ比較的ニ狹イ地域ニ限定セザルノ已ムヲ得ザルニ至ッタノハ何故デアリマスカ、兵力ノ不足ナリシ爲デアリマセヌカ、其兵力ハ誰ガ計畫ヲ立テタモノデアリマスカ、又外務大臣ハ膠濟鐵道ヲ擔保トセル我が債權ノ償還ガ圓滑ニ行ハルルニ至ッタト云フコトヲ出兵ノ著シキ效果ノ一トシテ舉ゲラレ、大體ニ於テ我が出兵ハ満足ナル效果ヲ奏シタルモノノ如ク認メテ居ラルヤウデアリマス、之ヲ以テ見マスレバ一方ニ於テ濟南ノ居留民ノ多數ガ財貨ヲ掠奪セラレ、又十數名ガ虐殺凌辱ニ遭ッテモ他ノ一方ニ於テ帝國政府ノ支那ニ對スル債權ノ償還ガ圓滿ニ行ハル、ニ至ッタ以上ハ、大體ニ於テ出兵ノ目的即チ我が居留民現地保護ノ目的ガ達シタルモノト認メラル、御考ノヤウニ聞エマス、果シテ然ラバ居留民現地保護トハ一體何ヲ意味スルノデアアルカ、之ヲ確メナケレバナラスノデアリマス、又外務大臣ハ濟南居留民ガ一旦、青島ニ避難スレバ容易ニ再ビ濟南ニ歸ッテ經濟的活動ニ從事スルコトヲ得ナイヤウナ御答辯ガアリマシタ、是ハ何故デアリマスカ、北伐軍ノ一度通過セル場所ハ治安秩序ガ紊レテ我が居留民ハ到底急ニ安住シ得ラレナイト云フ御趣旨デアリマスカ、ソレナラバ北伐軍ノ通過セル道筋ニ於テ我が軍隊ノ出動シナカッタ幾多ノ場所ニ、我が居留民ガ尙ホ居住イタシテ居ルノハ何故デアリマスカ、外務大臣ノ御答辯ハ如何ニモ御趣旨ノアル所ヲ了解スルニ苦ンデ居ルノデアリマス、質疑ノ第五問題タル内田伯爵ノ歐米歴訪ノ件ニ關シマシテハ、外務大臣ノ御答辯ハ是亦私ノ質疑ノ要點ニ觸レテ居リマセヌ、私ハ内田伯爵ガ我が對支政策ニ關シ關係諸國ニ如何ナル説明ヲ與ヘラレタノデアアルカラ伺ッタノデアリマス、外務大臣ハ御答ガアリマセヌ、又日英協調ニ關スル提議ノ性質竝ニ經過ニ付キマシテモ御答辯ガ無カッタノデアリマス、私ハ前回ニモ申述べマシタル通り、内田伯爵ノ行動ヲ批判スルヤウナ意思ハ毛頭有ッテ居ナイノデアリマス、唯、内田伯爵ガ諸外國政府ニ申入レラレタルト傳ヘラレタル我が對支政策ノ説明竝ニ英國政府當局ニ申入レラレタルト傳ヘラル、日英協調ノ

提議ニ付キマシテ、今日行ハレテ居ル種々ノ流言ハ事實ノ真相ヲ誤ッテ居ルノ
デハナイカト云フ心配ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ、寧ロ政府ヨリ進ンデ其真相
ヲ發表セラル、コトヲ國家ノ爲ニ有益ナリト考ヘマシテ、本問題ノ質疑ヲ提
出イタシタ所以デアリマス、殊ニ日英協調ノ提議ニ付キマシテハ、英國外務
當局デハ華盛頓條約ノ適用ニ止マル性質ノモノト解釋シ、何モ別ニ新シイ提
議デハナイ、支那問題ニ關シテ從來ノ日英兩國間ニハ絶エズ行ヒ來ッタル意見
ノ交換ヲ引續イテ行ハムトスルモノニ過ギナイ、且ツ内田伯爵ハ同一ノ提議
ヲ米國政府ニモ申入レタルモノト推測スルト云フ旨ヲ公表イタシタノデアリ
マス、果シテ然ラバ政府ガ斯カル提議ノ性質竝ニ經過ヲ明白ニセラル、コト
ニ何ノ差支ガアルデアリマセウカ、政府ガ之ヲ公表シテ一般ノ誤解ヲ解クコ
トニ努メラレナイノハ何故デゴザイマセウカ、外務大臣ハ此問題ニ關シテ公
文ノ交換ガナカッタコトヲ念ヲ入レテ御説明ニナッタノデアリマス、私ハ公文
ノ交換ガアッタナドトハ一言モ申シタ覺エハアリマセス、唯御承知ノ如ク外交
官ガ任國政府ノ當局ト會談イタシマス際ニハ、其口頭デ述べタル趣旨ヲ別ニ
書附ニ認メテ、之ヲ先方ノ手許ニ殘シテ置クト云フコトガ屢、行ハル、慣例
デアリマスガ故ニ、内田伯爵ガ若シ關係諸國當局ト會見セラレタル際ニ、何
等カノ書附ヲ其當局者ノ手許ニ殘シテ置カレタモノガアリマスナラバ、其書
附ノ全文ヲ發表セラレマスコトハ、今日世上ニ傳ヘラル、流言ヲ最モ明白ニ
打消スニ足ルモノデアルト推測イタシマシテ、其發表ヲ希望イタシタノデア
リマス、斯カル書附ガ……書附モナイト云フコトデアリマスナラバ、私ハ固
ヨリ是レ以上ニ穿鑿イタサムトスルモノデハアリマセス、質問……質疑ノ第
六問題タル日支關係ノ大勢ニ付キマシテハ、外務大臣ハ從來支那問題ノ處理
ニ當ッテ何等内政上ノ見地ニ捉ハレタルコトガナイト云フ短簡ナ御答辯ガア
リマシタ、併ナガラ一般人心ニ深刻マレタル印象ハ、此短簡ナル御答辯ニ
依ッテ拭ヒ去ラル、モノトハ思ヒマセス、日支關稅協定ノ如キハ、如何ニ列國
ニ遲レテモ結局成立スレバ宜シイデハナイカト云フヤウナ御答辯ガアリマシ
タガ、斯カル問題ニ關シ我ガ國ガ率先シテ支那ノ國民ノ希望ニ同情ヲ有スル

ノ實ヲ示スノト、多數列國ノ先例ニ倣ッテ已ムヲ得ズ之ニ同意シタト云フ如
キ形ニナルノト、國際的影響ハ同一デアルト云フ御意見デアリマス、我國
トシテ早晚同意スベキモノデアラナラバ、我ヨリ率先シテ同意スルコトガ、
外交政策トシテ得策デアルトハ御考ヘニナラナイノデアリマス、外務大臣
ハ日支關係ノ現狀ガ不満足ナルコトヲ認メラレマシタガ、何故ニ斯カル現狀
ニ立至ッタカト云フ點ニ付キマシテハ、私ハ御答辯ノ趣旨ヲ明瞭ニ了解シ兼ネ
タノデアリマス、外務大臣ノ御演說ヲ承リマス、今日マデ支那人ハ革
命ノ成功ヲ急イデ往々行動ニ常軌ヲ逸スルガ如キ形跡ガアッタノデアル、之
對シテ我ガ政府ハ日本ノ權利利益ヲ擁護セムガ爲ニ正シイ道ヲ探ッタカラ、日
支關係モ自然停頓スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタノデアルト云フ趣旨ノ御答辯
ガアッタノデアリマス、我國ガ正シイ道筋ヲ探ッタガ爲ニ停頓ヲ來スベキモノ
デアリマスナラバ、其停頓ヲ打開セムガ爲ニハ、我國ニ於テ正シキ道ヲ幾分
捨テナケレバナラヌト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ聞エマスガ、マサカ左様ナ
御趣旨デハナカラウト考ヘル、何レニ致シマシテモ支那人ハ往々行動ノ
常軌ヲ逸シタト云フコトガアッタカラト云ッテ、之ガ爲ニ當然日支關係ノ全部
ガ停頓ヲ來スベキモノデアリマセウカ、英國ハ二箇年前ニ於キマシテハ、支
那ニ於テ最モ困難ナル立場ニ立ツニ至ッタノデアリマスガ、其後支那國內ノ政
情ガ不安定デアリマシテ、所謂支那人ハ行動ニ常軌ヲ逸シタルガ如キ形
跡ガアリマシタル際デモ、著々地歩ヲ恢復シテ、英支關係ハ既ニ著シク改善
セラレ、兩國間ノ貿易ハ今日極メテ順調ナル發展ヲ示シテ居ルデアリマセ
スカ、私ハ最近開始セラレタル日支交渉ノ成功ヲ祈リマス、今日マデ
兩國ノ關係ガ久シク行詰リノ儘ニ打捨テテアッタコトヲ、深く遺憾トスルモノ
デアリマス、其行詰リガ恰モ當然デアルカノ如キ外務大臣ノ御答辯ハ、頗ル
意外ニ感ゼザルヲ得マセス、以上申述べマシタル諸點ニ對シマシテ、外務大
臣ハ去ル土曜日ニ御答辯ゴザイマシタル以外ニ、何等カ附加ヘニナルベキコ
トガアリマスナラバ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 過グル土曜日ノ幣原男爵ノ御質問ニ對シテ、私ハ大體御答ヘ致シテ居ッテ積リデアリマス、今日重ネテノ御質問デアリマスカラ、改メテ御答辯致シマス、第一ノ此滿洲ノ事態ニ關スル御尋デアリマス、私ハ滿洲ハ同ジク支那ノ領土デアリマスケレドモ、滿洲ハ又日本トハ特殊ナ關係ガアルモノダト考ヘテ居リマス、從テ政治的ニ見テモ、經濟的ニ見テモ此滿洲ノ事態ニツノ變化ヲ生ジ、我が權益ヲ侵害セラル、カ、或ハ是ガ發達ニ障害ヲ來シ、乃至ハ百餘万有餘ノ此帝國臣民ニ不安ヲ蒙ラシメルト云フヤウナ事態ガ、若シ滿洲ニ發生シマシタナラバ、是ハ日本トシテハ打捨置ク譯ニハ行カナイ、モウ一ツ申シマスレバ、是ハ日本ハ自衛的ニ、ソレダケノ處置ニ……應ズル處置ヲ執ラナクテハナラヌト考ヘテ居ルデアリマス、而シテ安住ノ地云々トノ言葉ハ、現ニ今日マデ滿洲ガ常ニ治安ガ保タレテ居レバコソ、滿洲ニハ支那各地カラモ又外國人モ、今日デモ常ニ續々彼ノ地方ニ移住モシ又來モシテ居ルデアリマス、今日マデノ此事態ニ見マシテモ、私ハ滿洲ノ治安ノ維持サレテ居ルト云フコトハ主トシテ日本ノ努力ノ結果ダト考ヘテ居ルデアリマス、今後ト雖モ此事態ハ我々ノ努力ニ依ッテ益、之ヲ安定セシメテ行カナクテハナラヌト考ヘテ居ルデアリマス、ソレカラ國民政府ノ此條約廢棄云々ノ事態ハ、既ニ今日ト其三箇月以前トハ變ッテ居ラヌデヤナイカト云フ御言葉デアリマス、成程、其當時ノ一方の條約廢棄ノ抗議又ハ再度ノ通告ト云フ其文字ハ變ッテ居リマセヌ、サリナガラ私ハ三四箇月以前ノ國民政府ノ、即チ一方の條約ヲ廢棄シタト云フ當時ノ此國民政府ノ精神ト今日ノ國民政府ノ狀態トハ餘程變化ヲシテ居ルト見ルデアリマス、又恐ラクハ今日ノ國民政府ハ一方のニ條約ヲ廢棄シテ、其當時ニ通告シタ臨時辦法ヲ適用スルト云フ考ヘハ今日ハ有ッテ居ラヌ、又實際適用モシナイデアリマス、關稅ノ協定ノ如キモ既ニ公文ノ交換ヲシテ居ルデアリマス、若シ一方のニ條約ヲ廢棄スルト云フ意味ガアルナラバ彼ヲシモ……必シモ日本ト公文ヲ交換ヲシテ、日本ノ承諾ヲ得ルト云フマデニ、アレダケ支那ハ努力セズニ勝手ニヤッタカモ知レナイデアリマス、其如ク今日ノ國民政府ノ事態ハ大ニ

私ハ緩和サレタト思ヒマス、從テ國民政府ハ今日、此多年築上ゲタ滿洲ニ於ケル所ノ又歴史アル、而シテ最モ重大ナル國民ノ生活ノ狀態ニ非常ナル關係ノアル此滿洲ニ於ケル權益ヲ一朝ニシテ蹈ミ蹴ジルト云フヤウナコトハ、私ハ今日ノ國民政府ハシナイモノダト考ヘテ居リマス、又シ得ラレヌ、又サセテハナラヌ、又左様ナ亂暴ナ事ヲ今日ノ國民政府ハスルヤウナ、矯激ナル趣旨ヲ有ッテ居ルデアナイ、又極メテ協調的誠意ノアル御互ノ立場ヲ了解シテ、兩國ノ親善關係ヲ維持セムト企圖スルモノデアラウト考ヘテ居ルデアアル、而シテ更ニ進ンデノ御尋、即チ此滿洲ト國民政府トガ完全ニ今日妥協シテ居ルカ、協調シテ居ルカト云フ御尋デアアル、私ニハソレハ分ラヌト申ス外ハナイ、又分ラヌト申スノガ私ハ本當デアラウト思フ、形ノ上デハ今日ハ協調シ得ラレル形ニハナッテ居リマスガ、今後果シテドウナルカ、形ノ上デハ今日ハ先ヅ統一サレテ居ルモノデアルト見ルノガ至當デアラウト存ジマス、今後、此兩者間ノ關係ハ、今日茲デ豫斷的ニ彼レ申スト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、次ニ山東出兵、即チ濟南ニ於ケル日本人ノ死傷ト云フコトデ、是ハ如何ニモ私ハ氣ノ毒ニ考ヘルデアリマス、遺憾ニ堪ヘナイデアリマス、併シ事實ヲ申セバ免ニ角此人ハ、警備區域ニ這入ッテ來イト云フコトヲ命令シテモ、其命令ヲ受ケズニ殘ッテ居リ……警備線外ニ……、又警備ノ線内ニ一這入ッテモ、モウ宜イダラウト云フノデ、自分ガ勝手ニ其制止ヲ肯カズシテ外ニ出タ人ハ多クノ損害ヲ受ケテ居ルデアリマス、ト申セバ私が冷酷ノヤウニ御聽取リカ知レマセヌガ、私ハ決シテ此人ハニ對シテ冷淡ナ考ヲ持ッテ居ルデアナイ、誠ニ帝國ノ臣民トシテ實ニ遺憾千萬ト思フデアリマスケレドモ、事態ノ實情ヲ御尋デアアルカラスク申スデアリマス、而シテ此濟南ノ多數ノ居留民ヲ、一遍青島邊ニ引上ゲサシテ、サウシテカラ再ビ出シタラ必シモ經濟ノ基礎ガ、破壊セラレルト思フ必要ハナイト云フ御趣意ノヤウデアリマス、是ハ私ハ全ク意見ノ相違ト存ジマス、私ハ今日以後ハ免ニ角、今日以前殊ニアノ當時ニ於ケル支那ノ軍隊中ニハ、共產主義臭味ヲ持ッテ居ル軍隊ガ多數アリマス、又共產主義的行動ヲ爲サムトスル者ガ、此國民黨員ノ

一部ニハ左様ナ人々ガ澤山アルノデアリマス、其當時或ハ一旦之ヲ撤去シタナラバ、其基礎ハ彼ノ人々ノ爲ニ破壊セラレルト云フコトガアルダラウト私ハ其當時ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、寧ロ此將來ノ山東ト云フモノハ、經濟的ニハ誠ニ重大關係ノアル地方デアリマスカラ、日本ノ此權益ハ飽クマデ其基礎ヲ破壊セラレナイヤウニ擁護シテ行カネバナラスト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、私ハ今日ト雖モ其考ハ適當デアッタ存ジテ居リマス、殊ニ尙更ニ進ンデ、内田伯爵ノ各國ヲ巡ラレタ關係ヲ御尋デアリマス、内田伯爵ガ巡ラレテ特別ノ事ヲセラレタノデハナイノデアリマス、不戰條約ノ調印ノ機會ニ、往々ニシテアノ當時、日支兩國ノ關係カラ、自然種々ナ宣傳ガ行ハレテ、日本ニ對スル一種ノ誤解ノ惹キ起ル虞ガアリマスカラ、此機會ニ主ナル各國ニ行カレテ、能ク日支兩國ノ事態ヲ説明シ、又日本ノ立場ニ誤解ナカラシムル如ク、各國ノ首腦者ト會見セラレテ、説明セラレタト云フニ過ギナイノデアリマス、又私ハ之ヲドウ云フコトヲ言ハレタ、斯ウ云フコトヲ言ハレタト云フコトヲ事新シク今日公表ヲスル必要モナイ、是レ皆分リ切ッタコトデアリマス、日支兩國ノ事態ト云フモノハ恐ラク議員ノ御方々モ現實ニ御承知ノ通りデアリマス、公文云々ト云フコトハ、私ハ公文ヲ交換シタコトガアルカト云フ、幣原男爵ノ其當時ノ御尋デアリマスカラ、公文ヲ交換シタコトハナイト申シタ、併シ今言ハレタ如ク、互ニ是カラ相談ヲシ、協調ヲ益、濃厚ナラシメルヤウニシテ行カウト云フコトニ付テ話ヲサレル、其話ヲ筆記シテ殘シテ置クト云フコトハ、是ハ常ニアルコトデアリマス、是ハ私ハ無イトハ申サナイノデアリマス、併シソレヲ私ハ今日公表ヲスル必要ヲ見ナイノデアリマス、併シ之ヲ公表シタガ宜シイト云フ男爵ノ御希望ハ承ッテ置キマス、又日支兩國ノ間デ必要デアリ、是ハ此支那ニ於ケル今日ノ建設的事業ヲ、之ニ協力ヲ與ヘルト云フ意義ニ於テ、此事柄ハ卒先ヲシテ爲スガ宜イト思ッタコトガアレバ、卒先ヲシテ之ヲスルト云フコトヲ敢テ辭サナイノデアリマス、併シ又同時ニ私ハ、恰モ列國ニ對シテ一種ノ拔驅ケヲシタカノ如キ感ジヲ持タセテ、而シテ左様ナコトヲスルト云フコトガ、今度ハ大局ノ上カラ果シテ利益デ

アルカ、ソレガ又折角卒先ヲシテヤッタコトモ、此支那ニ對シテソレガ却ッテ害ヲ爲スト云フコトモアリ得ルカノ如クニ思ハレルノデアリマス、又果シテ成功スルカドウカト云フコトモ、此兩三年前ノ北京ノ關稅會議ノ出來事モ私ハ一ツノ例デハナイカト存ズルノデアリマス、今日ノ國民政府ガ所謂北伐ガ成功ヲシテ、而シテ若干經過ヲシテ、漸ク五院ノ制度ガ成立ッテ、而シテ是ガ外交的談判ノ緒ニ付イタノハ、コ、數箇月前ノコトデアリマス、即チ各國ガ此國民政府ト條約ヲ結ブト云フ段取りニナッタノハ、御承知ノ通りニ最近ノコトデアリマス、又私ハ過般モ其言葉ガ幾ラカアッタヤウニ拜聽ヲシタノデアリマス、今度ノ關稅ノ公文ノ交換ト云フ如キモ、一番日本ガ遲レテ之ヲシタカノ如ク聞エ、又往々ニシテ世間ニハサウ云フ感ジヲ持ッテ居ル方モアルヤウニ思フノデアリマス、私ハ茲デ申シテ置クノデアアル、此關稅ニ付テノ協定ヲシ、公文ノ交換ヲシタノハ日本ガ初メデアリマス、決シテ日本ガ一番後デシタノデハナイノデアアル、自主權ノ問題即チ條約改正ノ問題ハ外ノ國モシタノデアアル、日本ハ此自主權……關稅自主權ノ問題ニ非ズシテ、此所謂差等稅率ノ實施ト云フコトニ付テノ協定ヲシタノガ日本ガ初メデアリマス、若シ夫レ關稅自主權ノ問題ニナリマシタナラバ、是ハ又條約ノ改正ノ當時ニ起ル問題デアリマス、以上大體再度ノ御尋ニ御答ヘ致シタ積リデ居リマス、而シテ更ニ此御尋ニ對シテ、私ガ特ニ此際附加ヘテ申ス要ガアルナラバト云フ御希望ガアリマシタ、私ハ私ノ方カラ進ンデ附加ヘテ申上ゲル事柄ハナイト存ジマス

○男爵幣原喜重郎君 短簡デアリマスカラ自席カラ發言スルコトヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵幣原喜重郎君 私ハ外務大臣ノ御答辯ヲ深イ注意ヲ以テ謹聽イタシテ居ッタノデアリマスガ、遺憾ナガラ遂ニ其御趣旨ノ存スル所ヲ明瞭ニ理解シ得ラレナカッタノデアリマス、併ナガラ之ヲ一々質疑ヲ重ネマスルト云フコトハ際限モアリマセスカラ、唯一點ダケハ是ハ是非明瞭ニ致シテ置キタイ點ガアリマス、即チ滿洲ニ於ケル我國ノ地位ニ付キマシテ、外務大臣ハ今滿洲ニ於テ

ハ我國ハ重大ナル權利利益ヲ持ッテ居ル、支那ノ外ノ部分トハ違ッテ非常ナ重
イ權利利益ヲ持ッテ居ル、此權利利益ハ何處マデモ擁護シナケレバナラス、多
數ノ居留民ガ駐在イタシテ居ル、是ハ保護シナケレバナラス、之ガ爲ニハ何處
マデモ我國ニ於テ適當ナル措置ヲ執ラナケレバナラス、ト云フ御趣旨ノ御答
辯ガアッタノデアリマス、其點ハ元來問題デハナイノデアリマス、私ハ左様ナ
點ヲ問題ト致シタノデアリマセヌ、我國ガ滿洲ニ於テ重大ナル權利利益ヲ
持ッテ居ルト云フコトハ私ハ度々申シタ、之ヲ擁護スルガ爲ニハ適當ナル措置
ヲ執ル、是ハ申ス迄モアリマセヌ、私ノ伺ッタノハ其權利利益ノ擁護以外ニ、
單ニ滿洲ノ治安秩序ノ維持ノ爲ニ兵力ノ使用ハ許サレルカ否カト云フ點デア
リマス、是ハ主義ノ問題トシテ極メテ重大ナル點デアルト思ヒマスカラ、外
務大臣ノ只今ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、結局日本ノ重要ナル權利利益
ヲ擁護スルノ目的ニ止マルヤウニ考ヘラレマスルガ、ソレナラバ宜シイノデ
アリマスガ、更ニ一應御確メ致シタイノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今ノ御尋ニ御答ヲ致スノデアリマス、即チ
日本ノ重大ナル權利利益ヲ擁護シ、又多數ノ居留民ノ生命財産ヲ保護スル、
此爲ニ已ムヲ得ヌ場合ニハ相當ノ措置ヲ執ルコトヲ辭セナイト云フ意味デゴ
ザイマス

○男爵幣原喜重郎君 只今ノ御答辯ニ依リマスレバ滿洲ニ於テ政府ノ執ラム
トスル措置目的ハ、治安秩序ノ維持其モノデハナク、我が權利利益ノ擁護ニ
止マルモノト解釋イタシマス、私ハ政府ガ内外ノ疑惑ヲ解カムガ爲ニ、各般
ノ問題ニ付テ政策ヲ明カニセラレムコトヲ望ミマシテ、諸般ノ問題ニ付テ質
疑ヲ提出イタシタノデアリマスルガ、多クノ問題ニ付キマシテ政府ノ政策ハ
甚ダ明瞭デナイコトヲ私ハ悲マザルヲ得マセヌ、是レ以上質疑ヲ重ネマシテ
モ、唯時間ヲ徒費スルニ止マルモノト考ヘマスルカラ、私ノ質疑ハ是デ打切
リマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 私此處デ重ネテ申シテ置キマス、滿洲ノ治安
ガ亂レレバ、我が權益ハ侵害サレ、國民ノ生命財産モ危殆ニ瀕スルモノデア
ルト考ヘテ居リマス

○男爵幣原喜重郎君 ソレナラバ結局我が權益ノ擁護ト云フコトニ歸シハシ
ナイカ、治安秩序ガ亂レレバ我が權益ヲ侵スト仰シヤルナラバ、其權益ヲ擁
護スル爲ノ手段ヲ御執リニナラナケレバナラスデハアリマセヌカ、私ハ其點
ヲ申上ゲタノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 滿洲ノ靜謐自體ガ即チ權益ノ擁護デアルト存
ジマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ二月一日實施ニナリマシタ支那ノ新關稅率ノコト
ニ付テ、緊急ニ質問イタシタイト存ジマス、御許シテ願ヒマス

○江木翼君 阪谷男爵ノ御提議ニ贊成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ、通告ノ順ニ依ッテ
議長ハ先日來許シテ居リマス、只今阪谷男爵カラ緊急質疑ノ御要求ガゴザイ
マシテ、江木翼君ノ贊成ガゴザイマシタカラ、議場ニ諮リマシテ決スル積リ
デゴザイマス、阪谷男爵ノ要求ヲ容レル、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、阪谷男爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ質問ハ簡單ナ質問デゴザイマス、去スル二月一日
カラ外務省ノ告示第六號ニ依リマシテ、支那ガ新關稅率ヲ實施スルコトニナ
テ居リマス、御承知ノ通りニ支那ト帝國トハ長イ間ノ關係デアリマシテ、而
モ今マデハ五分稅デ以テ貿易ガ行ハレテ來タノデアリマスルガ、更ニ二月一
日カラ新タナル稅率ガ行ハレルト云フコトニ付キマシテハ、日支經濟關係上
極メテ重大ナコトデアリマスルノデ、本員ハ政府ヨリ何等カ此事ニ付テ御報
告ノアルモノト期待シテ居ッタノデアリマス、然ルニ今日マデ何等御報告ガア

リマセスカラ本員ハ此處ニ起チマシテ、政府ヨリ何等カノ御報告ヲ願ヒタイ
ト云フコトヲ申スデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

詰リ是マデノ交渉ノ經過ハドウナツテ居ルノデアアルカ、又此外務省ノ告示ヲ
見マスト云フト、今般支那國民政府ヨリ本年二月一日以後左表支那國改訂
輸入稅率ヲ實施致度旨照會シ來リタルヲ以テ帝國政府ハ在支帝國臨時代理公
使ヲシテ國民政府ニ對シ右實施ヲ承認スル旨本月三十日附ヲ以テ回答セシメ
タリ極メテ簡單ナ形式ヲ以テ取扱ハレテ居ルノデアリマスガ、此處ニ在ル
國民政府ト云フノハ、政府ノ御考デハドノ地域ヲ包含シタ國民政府デアアル
カ、詰リ支那全部ヲ包含シタノカ、或ハ或一部ヲ包含シタノカ、其支那國民政
府ノ管轄區域ト云フモノハドウ云フ御考デアアルノカ、又此關稅自主權ノ問題
ト云フモノハ、只今チヨット外務大臣カラ幣原男爵ヘノ御答ノ中ニモチヨット
アッタヤウデアリマスガ、本員ニハ能ク聽取レナカッタノデアリマス、其自主
權ノ問題ノ處置ハドウ云フ風ニ話ガ付イテ居ルノデアリマスガ、又此告示第
六號ノ有效期限ト云フモノハ何年ニナルノデアアルカ、三年トカ七年トカ云フ
ヤウナ期限ニナルカ、或ハモット短イノカ、此有效期限、是ハ大變ニ日本ノ經
濟上ニ關係イタシマス、ソレカラ確カ此釐金稅ヲ廢スルト云フコトガ交渉ニ
ナツテ居ッタヤウデアリマスガ、此稅ガ實施セラレルト釐金稅ガ廢セラレル
デアアルカドウデアアルカ、又是ハ大シタ問題デハナイカモ知レマセヌガ、改正
稅率ト共ニ、舊支那政府ノ無擔保債務ト云フモノノ整理ノ財源ニ充テルト云
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ果シテサウ云フコトニナツテ居ルノカ、又ド
ノ位ノ金額ヲ其方ニ振向ケルト云フノカ、一向本員ハ承知イタシテ居リマセ
ヌ、何レニ致シマシテモ日支兩政府ノ間ニ或一致點ノ見出サレタト云フコト
其事ハ、甚ダ慶賀スベキコトト本員モ考ヘルノデアリマスルガ、極メテ重大
ナ時期ヲ劃スルモノデアリマスルカラシテ、政府ガ當然御説明ニナリ、御報
告ニナルコトト待ツテ居ッタ譯デアアルノデス、一向今日マデ其事ガゴザイマセ
ヌデ、段々日ガ經チマスルノデ、色々又商工業ニ從事シテ居ル人ハ疑フ有ツテ

居ル人モアルヤウデアアル、ドウシテ宜イダラウカト云フコトヲ本員ニ尋ネ
ル人モアリマスカラ、此際政府ガ貴族院ニ向ツテ明瞭ニ、今本員ノ御尋ネ致シマ
シタ點、其他ニモ經過ニ付テ御報告ニナルト云フコトハ必要ナコト、考ヘマ
スノデ、緊急ニ此事ヲ御質問イタシマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今阪谷男爵ノ此二月一日カラ實施セラレ
差等稅率ノ問題ニ付テ、大體ニ此處デ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマスコト
ハ、私共ハ之ヲ成ルベク早ク報告モシ、又一般ノ人々ニモ之ヲ知ラセタイト
考ヘテ居ルノデアリマスガ、茲ニ一ツ申上ゲテ置カナクテハナラヌ事柄ハ、
支那側ノ同意ヲ得ナケレバ發表ノ出來ナイ筋合、話合ニナツテ居ルノデアリマ
ス、御答ハ前後イタスカモ知レマセヌガ、先ヅ其點カラ申上ゲマスルト、所
謂債務ノ整理、釐金撤廢ニ關係スル、雙方ノ諒解ヲシマシタ所ヲ記錄シタ文
書ガ四通アリマス、ソレカラ新稅率ニ付テ照會ヲシマシタ往復文書ガ二通ア
リマス、此往復文ニ付キマシテハ、是ハ今日迄此往復文ハ餘リ發表シタコト
ハ無イノデアリマス、從テ今度モ其往復文ハ發表イタシマセヌ、又往復文ハ
必シモ實質的ニハ何等ナイノデアリマスガ、此第二ノ即チ債務整理、釐金撤
廢ニ關係シタ、諒解ヲ得マシタ相互的ノ此四通ノ文書ハ、只今申シマシタ通り
ニ、支那側ノ同意ヲ得ナケレバ發表ガ出來ヌヤウニナツテ居リマス、就キマシ
テハ御希望デアリマスルカラ、其御希望ニ應ジ得ルヤウナ手續ヲ執ツテ、之ヲ
發表シ得ルヤウニ致シタイト考ヘマス、ソレカラ此稅率ノ有效期限ハト云フ
御尋デアリマス、此有效期限ハマダ決マツテハ居リマセヌ、就キマシテハ之ヲ
若シ變ヘルト云フ時ニハ、更ニ雙方ノ協議ヲシテ變ヘルト云フコトニナツテ居
リマシテ、之ヲ何年トカ云フコトヲ今決メテハ居ラスノデアリマス、關稅自
主權ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ通商航海條約改正ノ時ニ、初メテ自主權ノ
問題ニ觸レル積リデ居リマス、日本トシテハ此差等稅率實施ニ關スル此協
定ハ、之ニ依ツテ關稅自主權ヲ認メタト云フコトニハナラヌノデアリマス、是ト
ハ全ク別問題ニナツテ居リマス、又此關稅ノ協定ヲシ、公文ヲ交換シマシタ以

上、此國民政府ハ事實上ノ政府ト承認ラシテ居ルノデアリマス、事實上ノ承認ラシテ居ルノデアル、從テ此稅率ノ實施ハ部分的ニ非ズシテ、之ヲ事實上ノ政府ノ、支那政府ト認メテ居リマス以上ハ、之ヲ支那全國的ノモノダト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 成ルベク最近ノ時期ニ、モット詳シイ御報告ヲ得ラレマスレバ大變仕合セデアリマスガ、今日ハ是デ止メテ置キマス

○江木翼君 只今ノ總理ノ御説明ニ對シテ一二質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 宜シウゴザイマス

○江木翼君 此輸入稅率ニ關シマスル往復文ノコトハ、頗ル大事ナコトデアルト思フノデアリマス、而シテ阪谷男爵ヨリ、重要ナ點ニ付キマシテハ總テ御尋ニナッタ様デゴザイマスルガ、ドウモ私共了承シ得ナイ點ガアルヤウニ思フ、先ヅ以テ私承ッテ見タイト思ヒマスルノハ、從來ノ輸入稅率ナルモノハ、日清通商航海條約ニ附屬シタル稅目協定ニ依ッテ出來テ居ルヤウニ思フ、即チ形式カラ申シマスレバ、批准交換ヲ經マシタル條約ニ依ッテ成立ッテ居ルモノデアリマスルガ、是ガ今回所謂交換シタル公文、極メテ簡單ナル形式ヲ以テ此協定ガ出來テ、而シテ從來ノ條約ト云フモノガ茲ニ變更ヲ致サレタ結果ニナッテ居ルモノト、推定スル外ナイト思フノデアリマス、此新シク出來マシタル所ノ輸入稅率協定ナルモノハ、從來ノ稅率ニ關スル條約ノ全部ニ代ハルモノデアルカ、即チ從來ノ稅率ニ關シマスル所ノ條項竝ニ稅目ト云フモノハ廢止イタサレテ、去月三十一日ニ告示サレマシタル所ノ稅率ガ、是ガ所謂支那ノ稅率全部ニナッタデアッテ、是レ以外ニハ稅率ナルモノハナイ、斯様ニナッタモノト心得テ宜シイノデアリマスカ、此點ヲ第一ニ承ッテ見タイト

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今ノ江木君ノ御尋ニ付キマシテハ、私ハ、丁度此處ニ通商局長ガ參ッテ居リマス、其局長ガ總テ扱ッテ居リマスカラ、ソレニ大體ノコトヲ御答ヲ致サセタイト存ジマス

〔政府委員武富敏彦君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武富敏彦君) 從來支那デ關稅ヲ增徴イタシマシタ時ニハ、イツモ關係國ノ同意ヲ得ルコトニナッテ居リマス、大正八年ノ關稅率ノ變更ノ場合モ、又大正十一年ノ關稅率ノ變更ノ場合ニモ、同ジ様ナ形式ニ於テ、關稅ノ增徴ガ行ハレテ居リマス、今回ノ增徴モ支那ヨリ我國ニ對シテ關稅率增徴ニ對スル照會ガアリマシタ、其照會ニ對シテ帝國政府ヨリ同意ナル旨ノ回答ヲ致シタ次第デアリマス、是ハ總テ現行ノ條約ニ於テ認メラレタル範圍内ニ於テ、帝國政府トシテハ現行條約ノ上ニ此事ヲ行ッテ居ル次第デアリマス、何等、從來ノ條約ヲ變更スル譯デモナク、現行條約ノ趣旨ノ下ニ此變更ニ同意ヲ與ヘテ居ル次第デアリマス

○江木翼君 私ハ其形式上ノ問題ハ、私ノ御尋ネ致シマシタ要點デハナイノデアリマス、私ノ御尋ネ致シマシタル要點ハ、今回ノ輸入稅率ニ對シテ承認ヲ與ヘラレタルモノガ、從來定ッテ居ル所ノ支那ノ稅率ノ全部ニ代ルモノデアルカドウカ、斯ウ云フ點ナノデアリマス、其點ヲ今一應……

〔政府委員武富敏彦君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武富敏彦君) 今回ノハ稅率ノ增徴デアリマス、從來ノ現實五分稅ニ加フル附加稅ヲ以テシタ形ニ於テ、ソレヲ今回ノ稅率ト認メテ居ル次第デアリマス

○江木翼君 ドウモ其點ニ付キマシテハ、私ガ御尋ネ致シマシタコトガ、言葉ガ簡單ナ爲デアリマスカ、能ク御分リニナラヌヤウデアリマスガ、其點ニ付テノ質問ハ、他日ノ機會ニ讓リマシテ、モウ少シ細カク御尋ヲ致シタイト思ヒマス、此前、千九百二十五年ニ關稅會議ヲ開カレマシタ時ノ際ニハ、增收イタシマシタ所ノ支那ノ關稅ノ收入ナルモノハ、凡ソ斯クノノ率ヲ以テ割當テルト云フコトガ略定ッテ居ッタヤウデアリマス、其使途ニ付キマシテハ協定ラシキモノガ成立セムトスル趣デアリマシタガ、其點ニ付キマシテハ今回ハ何等觸レテ居ラレナイノデアリマスルカ、只今阪谷男爵ノ御尋ニナリマシタ點モ其點ニアッタカト思フノデアリマスガ、新聞紙ニ傳ヘラル所ニ依リマス

レバ、不確實債務ノ償還ニ充テル爲ニ取敢ヘズ本年度ニ於テハ五百萬元ダケヲ入レルト云フヤウナ意味合ノコトガ出テ居ルノデアリマスガ、果シテサウデゴザイマセウカ如何デゴザイマセウカ、若シ果シテ五百萬元程度ノモノデアリト致シマスレバ、ソレハ懸テ十億ニ垂ント致シマスル所ノ不確實債務ニ對スル所ノ利息ト致シマシテ、僅ニ一億バカリノ擔保ニ對スル利息ニシカ當ラナイ、極メテ一小部分ノヤウニ思フノデアリマスガ、其點ハ如何ニナッテ居ルノデゴザイマセウカ、ソレカラ更ニ此不確實債務ト云フ中ニハ世間ニ唱ヘラレテ居リマス所ノ、所謂西原借款ト云フガ如キモノモ加ハッテ居ルノデアリマスガ、此不確實債務ナルモノハ支那政府ニ於テ確實ニ之ヲ承認シ、之ガ償還ヲ適當ナル方法ヲ以テスルト云フ所ノ條件ガ今回ノ公文ノ交換ノ中ニ明確ニサレテ居ルモノデゴザイマセウカ、其點ヲ承ッテ置キマス

〔國務大臣男爵田中義一君壇演ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) ソレ等ノコトニ付キマシテハ、又支那ノ事情モアリマスノデ、是ハ御互ニ同意ヲ得ナケレバ發表ヲスマイト云フ約束ニナッテ居リマシテ、玆デ同意ヲ得ズシテ事細カク申上ゲル自由ヲ得ナイノデアリマス、何レ必要ノ事トモ存ジマスルカラ、他日書面ヲ以テ此點ハ申上ゲルコトニ致シマス

○江木翼君 從來、此關稅協定ニ付キマシテ、所謂關稅自主ヲ認ムルト云フコトハ、是ハ華盛頓會議以來、殆ド之ニ關與イタシテ居リマスル所ノ九箇國政府ノ確定の方針ト申シテ宜シイと思フノデアリマス、從ヒマシテ此關稅自主ト云フコトヲ認メレバ、從テ關稅ノ増徴ト云フコトモ自ラ起ルノデアリマセウ、即チ關稅自主ニ至リマスル一時的辦法ト致シマシテ、増徴稅率ト云フモノヲ承認スルト云フコトハ、是ハ蓋シ當然ノ經路ト思フノデアリマスガ、ソレヲ認メルニ付キマシテハ、ドウシテモ其增收イタシマシタル所ノ支那國庫ノ歲入……此使途ニ付キマシテ確實ナル擔保ヲ得ルト云フコト、是ガ私ハ關稅問題ノ骨子デアルト思フノデアリマス、而シテ目下傳ヘラレテ居リマスル如ク、僅ニ五百萬元程度デ、而シテ將來ハ收入ヲ見テ、不確實債務ノ償還

ニ充ツル、其率モ決メル、斯ウ云フコトデゴザイマスルカ、先ヅ第一步ニ於キマシテ五百萬元程度ノ償還ヲ認メルト云フ位デアリマシタナラバ、第二年第三年ニ於テハ、或ハ千萬元ニスルトカ、或ハ千五百萬元ニスルトカ云フコトハ、甚ダムヅカシキヤノ感ガアリマス、併ナガラ既ニモウ一步ヲ蹈ミ出サレマシタノデアリマスカラ、ソレガドウ云フ程度ニ出來テ居ルカト云フコトヲ伺フコトガ出來マセスケレバ、私共ハ政府ニ向ッテ是レ以上、質問スルコトモ出來ナイノデアリマスガ、若シ果シテ新聞ガ傳フルガ如キ程度ノモノデアルトスルナラバ、私ハ甚ダ失望セザルヲ得ヌヤウナ感ジガ致スノデゴザイマス、又斯様ナコトデゴザイマスルナラバ、何モ支那ノ方ノ爲ニ之ヲ暫ク隱シテ置クトカ云フ理由モナイト思フノデアリマスカラ、速ニ私ハ公表イタサレマシテ、サウシテ日本ノ最近得タル此條約ト云フモノヲ十分能ク理解シ、サウシテ支那政府ニ向ッテ要求スベキモノハ要求スルト云フヤウナ事態ニナッテ

會モ開會中デゴザイマスカラ、御説明ナサルヤウニセラレムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

○添田壽一君 私モチョット御尋ネシタイ點ガアルノデスガ、御許シテ願ヒタイノデアリマス、簡單デゴザイマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○添田壽一君 私ハ只今伺ヒマシタコトニ付キマシテ、外務大臣ニ是非確メテ置カナケレバナラス點ガ生ジタノデアリマス、此關稅ニ同意ヲサレマスル以上ハ、政府ハ即チ國民政府ヲ事實上承認シタト云フコトヲ仰セラレタノデアリマス、果シテ然ラバ所謂「デー・ファクト」デアリマス、法律上ニハマダ御承認ニナッテ居ラスノデアリマスガ、ソレデアリマスガ、而シテ更ニ進ンデ御伺ヲ致シタイノハ、以前國民政府ナルモノニ向ッテハ餘リニ所謂同情ヲ持チニナラナカッタ政府ガ、今ヤ進ンデ事實ノ承認ヲナサルト云フノハ、非常ナル變化デアリマス、若シ斯程マデニ國民政府ノ所謂信用ヲ増シニナリマシ

タ以上ハ、何ガ故ニ進シテ事實上ノ承認ダケニ止マラズシテ法律上即チ「デ
ー・ジュール」ノ承認マデオ進ミニナラヌデアリマス、又何ガ故ニ他ノ國
ニ卒先シテ進シテ國民政府ヲ所謂無條件ニ完全ニ御承認ニナラヌデアリマ
スカ、先刻幣原男爵ノ御尋ニ對シテ、何時モ所謂引摺ラレタコトハナイ、即
チ此度ノ關稅ノ如キハ所謂「イニシエティヴ」ヲ取ツタノデアルト云フヤウナ御

言葉ヲ聞キマシテ、私ハ實ニ其大膽ナル御宣告ニ驚カザルヲ得ナイデアリマ
ス、今日茲ニ至ツタノハ如何ナ理由デアリマス、非常ニ切迫イタシマシテ樞
密院會議ニテモ無理ヤリニ時間ガナイト言ッテ、已ムヲ得ズ通過セラレタ位ノ
切迫スルマデノ此問題ガ、所謂已ムヲ得ザルニ成立スルト云フコトニ至ツタノ
ハ、果シテ何ヲ語ルノデアリマス、帝國政府ト致シマシテハ今少シク斯ノ
如ク重大ナル問題ニ付テハ明白ナル態度ト云フモノガ無クテハナラヌト思ヒ
マス、然ルニ拘ラズ已ムヲ得ズ二月一日ニ是ガ行ハレヌケレバナラヌト云フ
コトデ、殆ド脅迫的ニ支那ニ同意サレタト云フコトハ、私ハ一大問題デア
ルト考ヘマス、併シ過去ノコトハ論ジマセヌ、唯伺ヒタイノハ何ガ故ニ更ニ進
ンデ、無條件ニ國民政府ヲ承認シテ、帝國政府ハ所謂「イニシエーション」ヲ
御取リニナラヌカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ今一ツ伺ッテ
置カナケレバナラヌ點ハ、此法權ノ問題デアリマス、只今質問ノ中ニモ現ハ
レマシタガ、稅權ノ、所謂自由自主權「オートノミー」ヲ御認めニナルト云フ
コト、併セテ所謂此治外法權ノ撤廢ト云フコトニ付テ、帝國政府ハ今更申上
ゲマスル迄ニ御進ミニナツタ以上ハ、更ニ進ンデ「イニシエーション」ヲ御取
リニナツテ御進ミニナルト云フ御考ハアリマセヌカ、私ハ帝國政府ガ極ク強
キ外交政策ヲ御取リニナルト云フコトハ、決シテソレニ付テ異議ヲ唱ヘル者
デナイノミナラズ、極ク贊成ヲ表スル者デアリマスガ、其聲ニ實ガ伴ハナイ
ノニ甚ダ遺憾ヲ感ズルモノデアリマス、所謂強キ外交ヲ以テ方針ト遊バスナ
ラバ、何ガ故ニ「イニシエーション」ヲ取ツテ帝國政府ガ今マデ占メ來ツタ所ノ
此國際的地位、殊ニ極東ニ於ケル所ノ地位、又支那ノ四億ノ生靈ヲ救ヒ、又
支那ノ全體ヲ善導スルト云フ有力ナル地位ニ御進ミニナラヌデアリマス

カ、彼ニ與フベキ所ノ正當ナル要求ハ進ンデ與ヘルト云フ決心ヲ取リニナ
ラヌノデアルカト云フ點ヲ大體……差支ノアル所ハ宜シウゴザイマスガ、差
支ノナイ所ダケ此帝國議會ニ於テ明カニ政府ノ御方針ノアル所ヲ表明セラレ
ムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 第一問ノ法律上ノ承認ハ何時スルカト云フコ
トデアリマス、私ハ條約改正ノ商議ガ纏マッタナラバ、法律上ノ形式ヲ備ヘ
タ承認ヲシテ差支ナイト今日ハ考ヘテ居リマス、今直グ何故セヌカト云フ重
ネテ縷々御言葉モアリマシタガ、私ハ今日直グスル必要ハナイ、事實上ノ承
認ヲ與ヘテ居レバ、ソレデ事ハ運ブト斯ウ考ヘテ居リマス、尙ホソレニ付テ
政府ハ從來南方ニ餘リ同情セヌモノデアッタガ、急ニ同情スルヤウニナツタデ
ヤナイカト云フヤウナ御言葉モアッタヤウデアリマスガ、左様ナコトハ唯アナ
タノ獨斷的ノ御考トシテ私ハ御答ヲスル必要ハナイト存ジマス、此關稅ノ問
題モ實ハ十二月一日、又一月一日、斯ウ段々ニ此實施ヲシタイト云フノデ期
限ヲ延バシテ遂ニ二月一日マデニナツタノデアリマス、是ニハ非常ニ時日ヲ費
シタノデアリマス、唯斯様ナ問題ヲ輕シク取扱ッタノデハナイノデアリマ
ス、從テ樞密院ノ御諮詢ノ期限ガ迫ッタト云フコトモ、是等ノ問題ハ重大ナ
ルガ故ニ、又相互的ノ諒解ヲ得ルガ爲ニ時日ヲ費シタノデアリマス、期限ヲ
延バシタノハ雙方諒解ノ上デ、三回モ期限ヲ延バシテ居ルノデアアル、更ニ第
二問ノ治外法權ノ撤廢ヲ承認スル意思ハ無イカト云フコトデアリマスガ、今
私ハ直チニソレニ對シテ撤廢スルトカ、撤廢セヌトカ云フコトヲ申ス時期デ
ナイト存ズルノデアリマス、此點ニハ殊ニ慎重考慮セナクチャナラヌト考ヘ
テ居リマス、ソレダケ御答イタシマス

○山川端夫君 只今ノコトニ關係シマシテ、支那ノ問題ニ關係シマシテ極ク
簡單ナコトヲ一ツ御尋ネ致シタイト存ジマス、此席カラ御許シヲ願ヒタイ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○山川端夫君 今度ノ稅率ノ御發表ニナツテ居リマスノヲ拜見イタシマス、

一本ニナッテ居ルヤウデアル、ソレデ此税ハ本税デアリマス、本税ト附加税ト加ヘタルモノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、ト申シマスノハ抵代税ニ非常ニ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、抵代税ハ輸入税ノ半額ヲ拂フト云フコトニ條約上ナッテ居リマスガ、抵代税ノ關係ハ只今ドウ云フコトニナッテ居リマス、ソレハ我が貿易商ニ取リマシテ直チニ知ラネバナラス問題デアリマス、此問題ヲ明カニサナカッタト云フノハドウ云フ譯デアリマス、其點ヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員武富敏彦君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武富敏彦君) 此度發表ニナリマシタ税率ガ一本ニナッテ居リマス爲ニ、サウ云フ御疑問ガ生ジマスコトモ御尤ト存ジマス、政府ト致シマシテハ正税ノ外ニ附加税ヲ加ヘタルモノガ、今度ノ税率デアルト諒解イタシテ居ル次第デゴザイマス、抵代税ノ問題ハ現行ノ條約ニ於テ、明カニ正税ノ半分ト定メテアリマス、現實五分ノ正税ノ半分、即チ二分五厘ガ附加税ノ率デアルト考ヘテ居リマス

○江木翼君 先刻私が御尋ネシタノハ、丁度只今山川君ガ御尋ネシタ所ト同ジ意味デアッタデアリマス、ドウモ只今ノ答モ分ラナイノデアリマス、此告示ヲ見マスルト斯様ニナッテ居ルノデアリマス、「左表支那國改訂輸入税ヲ實施致度旨照會」シテ來タ、之ヲ見マスルト、之ヲ以テ輸入税率ノ全部ガ支那ニ於テ定メラレタモノデアアル、此通りノ輸入税率ヲ實施シタイカラト云フコトヲ照會シテ來タノニ對シテ、日本ハ承認ヲ與ヘタ、斯ウナッテ居ル、三十一日ノ告示ハ明白ニ、是ガ即チ支那ノ輸入税率ノ全部、是ガ從來支那ニ於テ取ッタ所ノ税率ノ全體ニ代ルモノデアアル、斯ウ云フヤウニシカ解サレナイノデアリマス、只今山川君ニ答ヘラレタ所ヲ見マスルト甚ダ私ハ要領ヲ得ナイノデアリマス、若シ斯ウ云フ意味デアルト致シマスナラバ、全然此告示ヲ御ヤリ替ヘニナラナケレバ、國民ニハ更ニ意味ガ通ジナイト思フノデアリマス、モウ一遍其點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

〔政府委員武富敏彦君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武富敏彦君) 只今山川氏ニ御答申上ゲマシタ如クニ、彼我兩國ノ諒解ハ、明カニ正税ニ附加税ヲ加ヘタモノデアルト了解イタシテ居リマス、唯正税モ附加税モ共ニ加ヘラレテ、課税ヲ受ケル關係上、一般ノ便宜ノ爲ニ、外務省告示ノ中ニハ、一本ニシテ告示イタシテアルノデアリマス、別段一本ニシテ告示イタシタルガ爲ニ、正税ニ附加税ヲ加ヘタト云フ諒解ヲ變更シタル次第デアリマセス、左様御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○江木翼君 是ハドウモ甚ダ驚入ッタルコトヲ御答ヘニナルト思フノデアリマス、條約ハ國ト國トノ間ノ約束デアリマシテ、是ハ御批准ニ依ッテ成立ヲ致シ、或ハ公文ノ交換ニ依ッテ成立ヲ致ストイタシテモ、國民ガ之ニ關スル所ノ義務ヲ負フニ當リマシテハ、ドウシテモ告示其他ノ方法ヲ以テ公布サルルニ非ズンバ之ヲ知ル由ガナイ、而シテ其告示ナルモノハドウデアアルカト云フト、只今私が讀上ゲマシタル如ク、支那國改訂輸入税率ト云フモノガ、左表ノ如ク定ッタト云フコトヲ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、是ハ詰リ全部ノ輸入税率デアルトシカ此告示カラハ見エナイ、若シ只今政府委員ガ述べラレタ如クデアリマスナラバ、其意義ヲ明白ニセラレナケレバ我々ハ之ヲ知ルニ由ガナイト思フノデアリマス、宜シク相當ナ措置ヲ執ルベキモノデアルト、私ハ確信ヲ致スノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 是デ緊急質疑ハ終了ヲ告ゲタモノト認メマス、是ヨリ通告順ニ依リマシテ、矢吹男爵ニ發言ヲ許ス等デゴザイマスガ、最早十二時ニ近ク相成リマシタカラ休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午前十一時五十五分休憩

午後一時三十九分開議

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是ヨリ午前ニ引續キ午後ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付テ御諮リヲ致シマス、加太邦憲君病氣ニ付キ二十八日間請暇ノ

申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本日太田清藏君都合ニ依リ請願委員ヲ辭任セラレマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ第九部ニ於テ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 矢吹男爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔男爵矢吹省三君演壇ニ登ル〕

○男爵矢吹省三君 私ハ外交ニ付キマスル二三ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、伺ヒタイ點ハ多々アルノデアリマスガ、質問通告ノ御方ガ多數オ出デノ際デゴザイマス、成ルベク質問ノ要旨ヲ限ッテ伺ヒタイト思フノデアリマス、前議會ニ於キマシテ私ハ、政府ニ濟南事件ノ事ヲ伺ヒマシタト同時ニ、其問題ニ對スル政府ノ責任ヲ明カニセムガ爲ニ總理大臣ニ質疑ヲ試ミタノデアリマス、其際總理大臣ノ御答ハ軍部ノ責任ガアレバアルノデ、内閣トシテ政治上少シノ責任モナイト云フヤウナ御答ガアリマシタ、私ハ其時ニ於テ御答ノ甚ダ間違ッテ居ルコトヲ指摘イタシタノデアリマス、併シ總理大臣ニ於カレテハ當時事實ノ調査ガ不十分デアッタ爲カ知レマセヌガ、内閣ニ責任ハナイト認メルト云フコトヲ飽ク迄言ハレタノデアリマス、從ヒマシテソレ以上私ハ御答ヲ要求シナカッタノデアリマスガ、其際私ハ濟南出兵ニ依ッテ起ッタル不祥ナル出來事、即チ我多數邦人ノ虐殺セラレタルコト、竝ニ多數邦人ガ掠奪ヲ受ケタルコト等ニ付テ其責任ヲ問フタノデアリマスガ、是ト共ニ艦デ支那ト日本トノ間ニ大ナル感情ノ疎隔ヲ來タシ、排日排貨ハ各地ニ蜂起イタシ、又對支外交上是ガ總テ懸案解決ノ故障トナリハセヌカト云フコトヲ慮レテ政府

ノ注意ヲ喚起シタノデアリマス、然ルニ此私ノ豫見ハ不幸ニシテ事實トナッテ現ハレテ參ッタノデアリマス、御承知ノ通り其後ニ於テハ支那各地ニ於テ未曾有ノ排日排貨ガ起ッタコトハ是ハ爭ハレナイ事實デアリマス、現ニ今尙ホ漢口ニ於テ排日排貨の暴動ガ其儘繼續シ、何時熄ムカ測リ知ルベカラザル狀況ニアルコトハ諸君モ御承知ノ通りデアリマス、此漢口ノ事例ハ顯著ナル事例デアリマスガ、其他各地ニ於テ同様ナル排貨排日運動ハ盛ンデアルノデアリマシテ、此原因ハ濟南事件ニアル、濟南出兵ニ依ッテ支那國民ノ我國ニ對スル惡感情ヲ來シタ爲デアルト云フコトヲ申シテ憚ラナイダウト私ハ思フノデアリマス、此點ニ於テハ恐ラク政府モ御承認サレデアラウト思フノハ、昨年七月十八日濟南事件交渉ノ根本方針ヲ御發表ニナリマシタ其公文書中ニモ、濟南事件以來支那ノ日本ニ對スル、支那國民ノ日本ニ對スル感情ハ大イニ惡化シタト云フコトガ書イテアリマスノデ、恐ラク政府モ是ハ御否認ニナルマイト思フノデアリマス、又支那ト日本トノ間ニ懸案、即チ南京事件或ハ漢口事件、又日支通商條約ノ問題、斯ク種々ナル懸案ガ未ダニ解決サレナイデ居ル、而シテ支那ノ方デモ常ニ濟南事件ガ解決セザレバ、總テ他ノ問題モ解決出來スト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、私ノ豫見通り此濟南事件ハ、單リ我が在留邦人ノ生命財產ヲ完全ニ保護シ得ザリシノミナラズ、日支國交上ニ大ナル障礙ヲ與ヘ、是ガ今日マデ日支國交上ノ瘤トモナッテ居ルノデアリマス、洵ニ此結果ハ重大ナリト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ其原因ヲ遡ッテ見レバ申ス迄モナク濟南出兵ニアッタコトハ明瞭デアリマス、茲ニ於テカ政府ノ責任ハ一層重大デアルト申サナケレバナラス、濟南ニ於ケル邦人ノ生命財產ヲ完全ニ保護シ得ザリシコトニ付テモ、昨年ノ議會ニ於テ私が論ジマシタ如ク政府ニ大ナル責任ガアルノデアリマス、況ヤ其上ニ排日排貨ハ各所ニ盛ンニ起リ、又日支國交上ノ瘤トモナリ、此又瘤アルガ爲ニ我國トシテ當然支那ニ要求シテ、支那ハ之ヲ容レナケレバナラス如キ有ユル懸案ガ解決セザル狀況ニアルト致シマシテハ、之ニ對シテ政府ハ責任ナシト申スコトハ何人モ出來スト思フ、恐ラクハ此點ニ付テハ深ク田中總理大臣

ニ於カレテモ、責任ヲ御感ジニナツテ居ルモノト私ハ信ズルノデアリマスガ、此機會ニ於テ政府ハ如何ニ濟南出兵以後、支那ニ起ツタ事態ニ對シテ御覽ニナリ、又ソレニ付テノ責任ヲ御感ジニナルカト云フ點ガ私ノ第一ニ伺ヒタイ點デアリマス、幣原男爵ガ一昨々日當議場ニ於テ濟南事件ノ問題ニ付テ御質問相成リマシタニ付テ、田中男爵ハ御答ヘ遊バシマシタ、其際、支那出兵ニ依ッテ膠濟鐵道ニ關スル公債ノ利子ハ入ッテ來ルヤウニナツタ、又膠濟鐵道モ圓滿ニ運轉スルヤウニナツテ居ル、又他ノ機會ニ衆議院等デ御答ニナリマシタ中ニハ魯大公司ノ如キ我が邦人ノ企業モ安全ニ行ハレテ居ル、即チ是ガ出兵ノ利益デハナイカト云フコトヲ仰セラレマシテ、出兵ノ利益ハ此點ニ在ルト云フコトヲ明言サレタノデアリマス、我々ハ此總理大臣ノ御言葉ニ對シテ甚ダ失望ヲ禁ジ能ハザルモノデアリマシテ、膠濟鐵道ガ圓滿ニ運轉シ或ハ魯大公司其他我が邦人ノ企業ガ安全ニ行ハレルヤウニナツタト云フコトハ、出兵ニ依ル一現象デアリマシテ、敢テ之ヲ以テ出兵ニ依ル利益ト申スコトガ出來ルカドウカ、私ハ當然ノ結果デアルト思フノデアリマス、我々ノ期待スル所ハ出兵ニ依ッテ何等カ日支國交上好キ影響ヲ與ヘ、或ハ又日支懸案ノ解決ニ多大ノ便宜ヲ得タト云フガ如キコトガアリトスレバ、是ガ出兵ノ利益デアルト私ハ申スノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ我々ハ斯ノ如キ利益ヲ發見スルコトヲ得ナイコトヲ悲シム者デアリマス、政府ハ此點ニ付テ依然トシテ出兵ノ利益ハ斯ノ如キ點ニ在ルト、他ニ無イト云フ仰セデアリマスカ、御答ヲ再ビ伺ヘレバ伺ヒタイノデアリマシテ、之ノミヲ以テ利益トスルナラバ我々甚ダ其總理大臣ノ御考ノ間違ッテ居ルト云フコトヲ申サナケレバナラヌト思フノデアリマス、次ノ問題ハ濟南事件ノ解決ノコトデアリマス、近來新聞紙上デ拜見イタシマスルト、濟南事件ノ解決モ大イニ順調ニ進ミツ、アル、又今朝ノ號外ヲ見マスルト、既ニ昨夜來ノ交渉ニ依ッテ圓滿ニ解決シタト云フコトヲ報ゼラレテ居ルノデアリマス、此事件ノ解決ガ圓滿ニ行ハレタト云フコトハ誠ニ日支國交上慶賀スベキ事柄ト私ハ深く喜ブ者デアリマス、併ナガラ如何ナル條件ニ於テ之ガ解決セラレタモノデアルカ、ソレハ今尙ホ不明デアリマ

ス、政府ハ昨年ノ七月十八日ニ濟南ノ事件ノ解決ニ付テノ根本方針ヲ發表セラレ、同時ニ又之ヲ支那政府ニ在外ノ領事ヨリ交付シタノデアリマス、其解決ノ根本條件ハ先ヅ第一ニ國民政府ノ謝罪ヲ求メ、次ニ責任者ノ處罰ヲ求メ、尙又日本居留民ノ生命身體財產ニ加ヘラレタ損害ノ賠償ヲ要求スル、最後ニ將來ノ保障ヲ要求スル、此四ツノ條件ノ基礎ニ於テ濟南事件ノ解決ヲ圖ルト云フコトヲ支那側ニ申出ルト同時ニ、ソレヲ公表シタノデアリマス、而シテ此濟南事件ノ責任ハ全然支那側ニ在ルト云フコトモ其公表ノ公文文中ニ歌ハレテ居ルノデアリマス、我々モ此濟南事件、斯カル殘虐ナル事件ヲ惹起シマシタニ付テハ、支那政府ニ重大ナル責任アルモノト信ズルノデアリマシテ、政府ガ公表シタ如キ條件ニ於テ解決スルノハ當然デアルト思フ者デアリマス、然ルニ新聞ノ誤カモ知レマセスガ、最近、上海或ハ南京ニ於テ芳澤公使ガ王正廷ト交渉シテ居ル其内容ヲ傳ヘテ居ルノニハ、何ヤラ日本政府ニ於テモ互讓ノ精神ニ依ッテ讓歩ヲ與ヘ、之ニ依ッテ圓滿ナル解決ヲ見ルモノノ如ク傳ヘラレルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、政府ハ七月十八日ニ發表サレマシタ濟南事件ノ解決ノ根本條件ヲ依然トシテ支持スルモノデアリヤ否ヤ、ヨモヤ此方針ヲ御棄テニナツタモノトハ思ヘナイノデアリマスガ、今尙ホ維持サレテ居ルカドウカ、之ヲ念ノ爲ニ此席ニ於テ伺ヒタイノデアリマス、即チ今日新聞ニ依ッテ傳ヘラレマシタ所ノ濟南事件ガ圓滿ニ解決サレタト云フ其交渉ノ内容ニ於テハ、七月十八日ニ聲明サレマシタ此四ツノ條件ハ完全ニ含マレテ居ルモノデアルカドウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ伺ヒタイノハ先程、緊急質問トシテ阪谷男爵ヨリ御質問ニ相成リ、又其他ノ方々ヨリ御質問ニ相成リマシタ此度成立シタ支那關稅率ニ付テノ公文交換ノコトデアリマス、此事ハ先程モ阪谷男爵ガ當席ニ於テ仰シヤリマシタ通り、一月ノ三十一日ノ官報ニ依ッテ發表セラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ其發表ハ唯稅率ニ止ッテ居ル、是ガ他ノ部分ニ付テ何故ニ御發表ニナラヌノデアアルカ、先程ドナタカノ御質問ニ此事ガアッタヤウデアリマスルガ、我々ハ支那ノ關稅問題ヲ決スルニ當ッテハ當然之ニ伴ッテ不確實債務ノ整理ノコト、或

ハ釐金撤廢ノコト等ガ議セラレナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、恐ラク此度ノ交渉ニ於テモ斯カル點ガ議セラレタコトト存ズルノデアリマス、併シ先程江木君ハ不確實債務ノ整理ノ爲メニ此度充テラレルコトニナッタ金額ハ僅ニ五百万圓位デアルト傳ヘラレルガ如何ナモノデアルカト云フ御質問ガアリマシタガ、政府ハ之ニ對シテ明瞭ナル御答ガナカタノデアリマス、本來數年前ノ支那關稅會議ニ於キマシテハ、不幸ニシテ其會議ハ中止セラレマシタケレドモ、支那側ト日英米トノ間ニ於テハ、此附加稅増徴ノコトニ付テハ相當具體的ニ論議セラレ、其增收シタル財源ヲ如何ニ處理スベキヤト云フコトニ付テモ具體的ニ考究セラレ、相當程度マデ諒解ガ出來タノデアリマス、此際決シテ五百万圓如キ少額ヲ以テ不確實債務ノ整理ニ充テラル、ガ如キ話デハナク、相當多額ナル財源ヲ以テ不確實債務ヲ整理シ、一日モ早く我國ノ支那ニ對シテ持ッテ居リマスル不確實債權ノ回收ガ出來ルヤウナ筈デアッタノデアリマス、從ヒマシテ此度ノ關稅交渉ニ於テハ、此點ヲ是非トモ關稅會議當時ノ條件ニ近キ條件ヲ以テ、御解決相成ルベキモノト信ジタイノデアリマシタガ、我々ノ伺ヒ得タ所ニ於テハ此期待ハ裏切ラレタ如ク想像スルノデアリマスガ、斯カル想像ハ誤リデアルカドウカ、此點ヲ御明言ヲ願ヒタイノデアリマス、又先程添田君ノ御質問ニ、何故ニ政府ハ此際直チニ支那政府ヲ法律的ニ承認シナイノデアルカト云フコトヲ御尋ニナリマシタニ對シテ、法律的ノ承認ハ通商條約締結ノ時ニ致スノダ、ソレ迄ハ事實上ノ承認ヲ與ヘルニ過ギナイ、斯様ニ御答ニ相成ッタノデアリマスガ、政府ハ何故ニ左様ニ區別ヲスルノデアルカ、此際ハ事實上ノ承認デナケレバナラヌ、通商條約締結ノ場合ハ法律上ノ承認ヲ與ヘルノダト云フ如ク區別スル理由ハ何處ニ存スルノデアルカ、言換ヘマスト事實上ノ承認ト法律上ノ承認ト、其效果ノ上ニ於テ如何ナル差異ガアルト御思ヒデアルカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、我々ノ見ル所ニ依リマスト、此度ノ公文交換ニ依リマシテ……關稅ニ關スル公文交換ニ依ッテ定ッタコトモ、條約ト等シク日支兩國ヲ拘束スル點ニ於テハ少シノ差モ無イモノト思フノデアリマス、事實上ノ承認ヲ與ヘテ作ラレタル公文

交換ハ效力ガ薄イト云フガ如キコトデナク、此關稅ニ關スル取極ガ條約ト等シク我國ヲ拘束シ、又支那國ヲ拘束スルモノデアルト私ハ信ズルモノデアリマスルガ、政府ハ左様ニ御覽ナラナイノデアリマス、若モ兩國ヲ斯ク拘束スルモノデアルト云フナラバ、少シモ條約トハ差ガ無く、即チ事實上承認ヲ與ヘタト雖モ法律上ノ承認ヲ與ヘタト少シモ、斯カル取極ヲスル上ニ付テノ效果ノ差ヲ見出サナイノデアリマス、我々ハ斯ク見ルノデアリマスガ、政府ハ何等カ以上申シタ點ニ於テ違ッタ御見解ヲ持ッテ居ラルルカドウカト云フ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、最近ニ於テ日支間ニ行ハレタ交渉ハ二ツアリマス、即チ濟南事件ノ交渉、竝ニ此關稅ノ交渉ト二ツアリマスガ、此交渉ニ於テ我々ノ新聞紙ヲ通シテ見マスル所ニ於テハ、何ヤラ政府ハ初メノ意氣込ノ如キコトハ無く、努メテ支那ニ對シテ妥協的ニ、他ノ言葉デ申スト支那側ニ引摺ラレツ、解決ヲ焦ッタト云フガ如キ感ヲ深クスルノデアリマス、此點ニ於テ恐ラク政府ハ決シテ左様ナコトハ無イト簡單ニ仰セニナルカモ知レマセヌガ、世間デ斯ク觀ルバカリデナク、恐ラク支那デモ斯様ニ見テ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、斯カル感ジヲ内外ニ與ヘタト云フコトハ、田中内閣ノ外交政策ノ上ニ當初ヨリ一貫シタルモノナク、或時ハ強硬ト言ヒ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

或時ハ積極ト言ヒ、所謂行キ當リバッタリノ政策ヲ以テ外交ニ臨マレタ爲ノ不都合ナル結果デアルデハナイカト私ハ疑フノデアリマス、現ニ幣原男爵ガ當席ニ於テ御質問ニ相成ッタ中ニ、田中男爵ニ對シテ積極外交ト云フノハ何デアルカ、強硬政策ト云フノハ何デアルカト云フコトヲ御尋ニナリマシタケレドモ、之ニ對スル明瞭ナル御答ガナク、謂ハバ其積極ト云ヒ強硬ト云フノハ内容ハ何等無イノダ、唯一ツノ形容詞トシテ言ハレタモノノ如ク御答辯ノ結果ハ相成ッタノデアリマス、斯ノ如キ無定見ガ此外交ヲ爲ス當局者ニアッタモノトスレバ、外交上十分ナル結果ヲ擧ゲ得ズ、却ッテ外國ノ嘲笑ヲ買フト云フガ如キ不都合ナル、又憂フベキ結果ヲ持來スコトハ當然デアリマス、我々ハ甚ダ此點ヲ遺憾トスルノデアリマスルガ、外務大臣ニ於テハ私ノ此見解ニ

對シテ何等カ御所見ガゴザイマスカ、是ガ伺ヘタラ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ伺ヒタイ點ハ政府ハ滿洲ノ治安維持ト云フコトニ付テ、非常ニ拳ヲ固メテ從來御臨ミニナッテ居ルト云フコトハ天下萬人ノ知ル所デアリマス、現ニ幣原男爵ノ御指摘ニナリマシタ通り、本年ノ外交演說ニ於テモ斯様ナコトガ現ハレテ居リマス、又昨年ノ五月十八日滿洲ノ治安維持ニ關スル覺書、是ニモ十分現ハレテ居ルデアリマス、即チ滿洲ノ治安維持ニ付テハ、政府ハ適當ニシテ且ツ有效ナル措置ヲ執ルコトガアルベシト云フコトヲ豫告シテ、南北兩軍ニ對シテ大ニ警告ヲ與ヘタノデアリマス、此警告、此聲明ノ、外交文書トシテ見テ當ヲ得タルカドウカ、此事ニ付テハ大ナル疑ガアリマス、非外交的文書ナリト云フコトニ之ヲ見ルノガ正シカラウト思フデアリマス、是ガ爲ニ支那南北兩軍ハ勿論、英米ノ言論界ニ於テモ、我國ノ此聲明ニ疑ヲ持チ、或ハ支那ノ主權ヲ侵害スルモノデナイカ、或ハ又支那ノ内政ニ干涉スルモノデハナイカ、或ハ又支那ニ關スル九箇國條約ニ反スルモノデヤナイカト云フガ如キ疑惑ガ行ハレタノデアリマス、痛クモナイ腹ヲ我國ガ、支那ハ勿論各國ヨリ探ラレルコトニ相成ッテ、誠ニ之ヲ發表スルニ付テモ、今少シ思慮ヲ加ヘラレタナラバト云フ遺憾ノ感ガ致スノデアリマス、併ナガラ免ニ角政府ハ、或ハ他國ノ權利主權マデモ侵害シテ、滿洲ノ治安ヲ維持スル位ノ決心ガアルモノトスレバ、恐ラク滿洲ニ於テハ決シテ秩序ノ紊亂ヲ見ルコトガナイ、此聲明ガ外交的ニ見テ不都合デアリトシテモ、滿洲ノ治安維持ノコトハ完全ニ行ハレルニ違ヒナイト云フコトノ確信ハ、多クノ人ニ與ヘタノデアラウト思フデアリマス、既ニ他國ノ權利ヲ侵シテマデモ、必要ニ依レバ我國ニ於テ、適當ニシテ且ツ有效ナル措置ヲ執ルト云フコトヲ斷言スル此政府ニ於テハ、自己ノ持ッテ居ル既得ノ權利利益ヲ擁護スル上ニ於テハ、何人ニモ劣ラス人後ニ墜チヌダケノ御所信ガアッタコトデアルト云フコトヲ、我々ガ信ジテモ、亦誤リガナイモノデアルト思フデアリマス、即チ滿洲ニ於テ我國ガ持ッテ居リマス既得ノ權利利益ハ、獨リ此内閣ノミナラズ、歷代ノ内閣ガ、我國ノ國運ヲ賭シテマデモ維持セムト欲スルモノデアリマス、而シテ此

權利利益ヲ擁護スル上ニ於テハ、治安維持ニ對シテ我國ガ持ッテ居リマス既得ノ權利アリトスレバ、ソレヲ最モ有效ニ行使スベキ等ノモノデアッタト思フデアリマス、而シテ斯様ナ滿洲ニ於ケル秩序維持ニ關シテ、我國ハ有力ナル權利ヲ持ッテ居ルコトハ、今更論ズル迄モナイコトデアリマシテ、皆様何レモ御承知ノコトデアリマス、即チ滿鐵ノ附屬地ニ於テハ、我國ハ絶對的且ツ排他的ノ行政權ヲ持ッテ居ルコトハ、是ハ爭ハレナイ事實デアリマス、而シテ其根據ハ日露戰爭ノ結果、其講和條約ニ依ッテ我國ガ、露西亞ガ支那ニ對シテ持ッテ居リマシタ權利ヲ繼承シタモノデアリマス、所謂幾萬ノ血ヲ以テ購ハレタル重要ナル我國ノ權利デアリマス、政府ガ五月十八日ニ斯カル滿洲ノ治安維持ニ關スル重大ナル聲明ヲサレタ以上ハ、總テノ既得ノ權利ヲ擁護スルニ付テ、特ニ周到ナル注意、嚴格ナル御覺悟ガアッタモノデアルト私ハ信ズルデアリマス、從ヒマシテ此滿鐵沿線ニ關スル我國ノ持ッテ居リマス、重要ナル行政權ヲ維持シ擁護スル上ニ付テモ、十分ナル御覺悟ガアッタモノト思ハナケレバナラスノデアリマス、然ルニ我々事實ノ上ニ於テ、此事ガ裏切ラレタコトヲ遺憾トスルモノデアリマス、即チ絶對的排他的ノ此重要ナル權利ガ、一時的トハ云ヘ又局地的トハ云ヘ、拋棄シタト云フ事實ガアルノデアリマス、其事實ハ既ニ天下ニ公表サレタ陸軍ノ公報ニ依ッテ明カデアリマス、六月十二日ノ陸軍ノ公報ヲ見マスルト、此重要ナル權利ヲ拋棄シタト云フコトヲ否定出來ナイノデアリマス、此公報ハ既ニ多數ノ御方ハ御承知カモ知レマセヌガ、要領ヲチヨット申上ゲマス、京奉鐵道ト滿鐵ト奉天附近ニ於テ交叉シテ居ル點ガアリマシテ、即チ京奉線ガ滿鐵ノ附屬地内ヲ通過スルノデアリマス、デ滿鐵附屬地ヲ保護スル絶對的排他的權利ハ、此京奉線ノ上ニモ及ブノデアリマス、滿鐵附屬地ヲ通過シテ居ル範圍ニ付テハ、此京奉線ノ上ニモ及ブノデアリマス、從ヒマシテ條約上ノ權利ヲ飽ク迄モ擁護セムトスルナラバ、如何ナル場合ニ於テモ、此京奉線ノ上ニ於テ我國ガ持ッテ居リマス警備ノ權能、守備ノ權能ヲ讓ル譯ニハ參ラスノデアリマス、況ヤ五月十八日ニ政府ハ重大ナル聲明ヲシテ、滿洲ノ治安維持ヲ圖ラムトシタ其際ニ於テ

ハ、特ニ此點ニ付テハ嚴重ナル覺悟ガアツテ然ルベキモノト思フノデアリマス、然ルニ公報ニ依リマスルト、此守備ノ權能ヲ一時的デハアリマスガ、支那ノ憲兵ニ讓ッタト云フコトニ相成ルノデアリマス、其文句ヲチヨット讀ンデ見マス「京奉線ガ我が滿鐵線ト交叉スル地點ハ京奉線ガ滿鐵ノ下方ヲ通過スル關係上滿鐵線ノ橋梁下ハ滿鐵線路ノ一部トモ看做サルヲ以テ本來支那軍隊ハ警察官等ヲ配置スル能ハザル地域ナリ、然ルニ今次張作霖ノ歸奉ニ際シテハ右交叉點ニ支那憲兵ヲ配置シテ警戒シタキ旨六月三日支那側ヨリ申出デアリ、我が守備隊ニ於テモ時節柄支那側ノ申出モ尤モノコトトシ各方面ト打合せノ上支那側ノ申出ヲ容諾シ」云々ト書イテアリマス、即チ其京奉線ノ上ニハ、京奉線ノ警備ニ付キマシテモ滿鐵ヲ經過シテ居ル部分ニ付テハ支那軍隊又ハ支那ノ警察官等ヲ配置スル能ハザル地域デアルト云フコトハ政府モ言ッテ居ルノデアリマス、是レ即チ我國ガ此地點ニ付テ絕對的排他的ノ行政權ヲ持ッテ居ルカラデアアル、然ルニ之ヲ支那側ニ讓ッタト云フコトハ此事ノ性質自體ガ頗ル重大デアアル、所謂重大ナル權利ノ放棄デアルト云フ見地カラ重大デアルト私ハ信ズル者デアリマス、而シテ斯ノ如キ重大ナル權利ヲ放棄シタ結果ガ如何デアッタカ、即チ支那ノ軍隊、或ハ憲兵ガ其地點ヲ守備シタコトノ結果ガ如何デアッタカト言ヘバ、公報ニモ明カナルガ如ク支那ノ……滿洲ノ元首トモ云ハルベキ張作霖竝ニ其部下ノ有力ナル巨頭ノ吳俊陞氏ガ爆死サレタノデアリマス、之ニ引續イテ奉天ハ物情騒然トシテ暫クノ間治安ハ紊レムトスルノ憂フベキ狀況ニ陥ッタコトモ爭ハレナイ事實デアリマス、而シテ滿鐵線ハ是ガ爲ニ數日間、國際通路トシテノ機能ヲ發揮スルコト能ハズ、不通ト相成ッタノデアリマス、既ニ權利ノ放棄自體ガ性質上重大ナルノミナラズ、其結果ガ斯ノ如キ重大ナルモノト相成ッタ、而シテ左様ナル爆發事件ノ如キ事ハ我が忠勇ニシテ軍紀整然タル軍隊ガ本來ノ權能ニ依ッテ守備シテ居ッタモノトスレバ、決シテ起リ得ザリシ事デアルト我々ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、若モ此點ニ付テ疑ヲ持ツモノガアルトスルナラバ、是レ我が帝國ノ陸軍ヲ侮辱スルモノト言ハナケレバナラス、我々ハ帝國ノ陸軍ヲ尊重スル

以上我軍ニシテ此地點ヲ守備シテ居ッタモノトスレバ、決シテ斯カル爆發事件ハ起ラズ、張作霖又吳俊陞ノ死亡モナク、滿鐵ガ世界ノ交通路トシテ暫クノ間機能ヲ失フガ如キ事モナカッタモノト斷言スルノデアリマス、即チ此行政權ヲ讓ッタコトハ性質上カラ見テモ、其結果カラ見テモ洵ニ重大ナルモノデアアルデアリマス、而シテ此點ニ付テ其責任ノ關係ガ今尙ホ明カナナイ、左様ナル重大ナル事ヲ惹起シテ居リナガラ、其責任ノ關係ガ今尙ホ明カナイト云フコトハ如何ナルコトデアルカ、我々ハ左様ナル重大ナル處分ヲ出先ノ守備隊長如キ者ガ自己ノ獨斷ニ於テ爲シ能ハザルモノデアルト思フノミナラズ、軍司令官ニ於テモ亦自己ノ獨斷ニ於テ爲シ能ハザリシモノデアルト斷言スル者デアリマス、而シテ現ニ軍司令官ハ此事ヲ以テ我が陸軍大臣ノ指揮ヲ仰イダト云フコトモ聞クノデアリマス、然ラバ條約上ノ權利ヲ拋棄シ、又斯ノ如キ重大ナル結果ヲ惹起シタコトニ付テノ處分ニ付テ陸軍大臣モ亦責任ナシト云フコトハ出來ナイト私ハ思フ者デアリマス、而シテ此守備ヲ怠タ事ニ依ッテ守備ヲ支那側ニ任シタコトニ依ッテ、我が軍ガ守備シテ居ッタトスレバ起リ得ザリシ斯カル不祥ナル事ヲ惹起シ、而シテ疑惑ハ何等カ我國ノ上ニモ加ヘラレテ、所謂重大事件ト稱スルガ如キ事態ニ今日相成ッテ居ルニ付キマシテハ、政府ガ此間ニ執ッタ處置ニ付キ相當遺憾ナ點ガアッタノデハナイカト思フノデアリマス、現ニ斯カル重大ナル事ガ、權利ノ拋棄ガアッタニモ拘ラズ、誰ガ斯ノ如キ處分ヲシタカト云フコトヲ明瞭ニシテナイノデアリマス、此點ハ總理大臣ノ責任デアラウト思フ、總理大臣ハ滿洲ニ於ケル治安維持ニ付テハ相當強硬ナル御考ヲ中外ニ發表シテ居ラル、ノデアリマス、而シテ斯カル重要ナル權利ノ拋棄ヲ爲シタ者ガアッタシテ、總理大臣ノ御考カラ見レバ實ニ不都合ナ者トシテ直チニ處罰スル、或ハ其他ノ處置ヲ執ラルベキ筈デアアルノデアリマス、然ルニ今尙ホ左様ナル御處置ハナイ、此點ハ誠ニ遺憾ナ點デアリマス、強ヒテ察スレバ、事遂ニ陸軍大臣ニマデモ此責任ガ及ブト云フコトヲ恐レテデハナイカ、即チ此條約上ノ權利ノ拋棄ヲ爲スニ付テノ指令ヲ陸軍大臣モ與ヘタト云フ點ニ事實ガアルガ爲ニ、此事ヲ論ズルニ當ッテハ遂ニ

陸軍大臣ニモ禍ノ及ブト云フコトヲ虞レテ、今尙ホ總理大臣ガ御處置ガナイノデハナイカト思フノデアリマス、從テ私ハ陸軍大臣ニ伺フト同時ニ總理大臣ニモ伺ヒタイノハ、總理大臣ハ何故ニ今日マデ斯カル重要ナルコトヲ其儘、住茸日ヲ送ッテ調査ヲ遂ゲラレヌ、又處分スベキ者ヲ處分セズニ今日ニ及ンダノデアアル、此點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、陸軍大臣ニ對シテハ、守備隊長ガ村岡關東軍司令官ニ指揮ヲ仰ギ、又關東軍司令官ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ仰イダカドウカ、仰イダトスレバ陸軍大臣ニ責任ガアルノデハナイカト云フコトヲ陸軍大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、以上數點ニ付テノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス（拍手起ル）

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（男爵田中義一君） 只今ノ御尋ニ對シテ私ノ關スル限リニ於テ御答ヲ致シマス、今日ノ排日排貨ガ支那ニ於テ各所ニ行ハレルノハ、濟南出兵ノ此爲ニ斯様な事が起ッテ居ルノデハナイカト云フ第一ノ御言葉デアリマス、固ヨリ私ハ是ガ一ツノ因ヲナシテ居ルトモ考ヘルノデアリマス、併ナガラ今日皆様御承知ノ通りニ、各地ニ於テ排日排貨ヲ爲スト云フコトハ、單リ日本ニ對スルノミナラズ、總テ苟モ外交問題ノ難件ヲ、之ヲ彼ノ人々ノ爲ニ有利ニ解決セムガ爲ニ用キラレル常套ノ手段デアルト云フコトハ、能ク皆様ノ御承知ノ通りデアリマス、從テ今日ノ排日排貨ノ狀況ハ、各種ノ此兩國ノ間ノ問題ヲ有利ニ解決セムガ爲ニ、斯様な事柄ハ始終各所ニアルモノダト、是ハ誰モ考ヘテ居ルノデアリマス、其中デ最モ彼等ノ問題トシテ居ルノハ、是ハ濟南ノ問題ト云フコトモ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、併シ私ハ山東ノ出兵ガ固ヨリ彼ノ局地ニ於テモ、失敗トハ固ヨリ思ッテ居リマセヌ、ノミナラズ私ハ此一般的ノ排日排貨ハ、此以前ト此以後トハ餘程違フノデアリマス、御承知ノ通り此以前ニ於テハ、南京ニシテモ漢口ニシテモ、各所ニ頗ル此排日排貨ハ矯激ニ行ハレ、直チニ日本國民ノ生命財產ニ危害ヲ加ヘルト云フコトガ屢々起ッタノデアリマス、今日ハ排日排貨ハ行ハレマスガ、各所ニ矢張りアリマスケレドモ、私ハ以前ノ如ク矯激ナル暴虐ナル行爲ハ餘程少クナッタト

思フノデス、寧ロ直接ニ日本國民ノ生命財產ニ危害ヲ與ヘルト云フコトガ餘程少クナッタ、又ソレヲ始終手控ヘルヤウニナッタト云フコトデアリマス、詰リ私ハ斯様な事柄ハ大體ニ於テ、彼等ガ日本ノ此力ヲ輕ンジナイ、所謂輕侮ノ念ヲ防ギ得タト云フコトハ、全體ニ於テ私ハ大變效能ノアルモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、從テ相互ノ立場ヲ能ク今後諒解セシメル上ニ於テ、素リニ他ヲ輕侮スルト云フヤウナコトノナイヤウニ、適當ニ事態ヲ處理スル上ニ於テ、私ハ寧ロ良イ影響ヲ將來生ミ出シハセヌカトマデ考ヘテ居リマス、併シ斯様な事柄ハ先ヅ絕對已ムヲ得ヌ場合ノ外、是ハ爲スベキコトデハナイノハ言フ迄モナイコトデアリマス、濟南事件ノ解決ト云フコトガ、今朝ノ新聞ニモ出テ居ルガト云フコトデアリマスガ、遺憾ナガラ此事態ヲ私ハ此處デ皆様ニ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマス、ト申シマスルノハ、私ノ手許ニマダ公報トシテ其報告ヲ得テ居ラヌノデアリマスガ、言フ迄モナイコトデアリマスガ……固ヨリ豫テアナタ方ノ御承知ノ通りニ、此趣意ヲ以テ交渉ハ始終シテ居ルノデアリマスノハ言フ迄モナイコトデアリマス、互ニ今後ノ親善關係ヲ増進シ、互ノ立場ヲ理解シ、而シテ最モ今日ハ此支那ニ於テ建設の事業ヲ成就セシメル上ニ於テ、同情ノアル、又互讓の考ヲ以テ始終交渉ヲシテ居ルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス……

〔「強硬外交ヲ放棄シタカ……」ト呼フ者アリ〕

ソレカラ尙ホ先刻ノ御尋ノ關稅問題ニ付テノ……是ハ阪谷男爵ニ申述ベタ如ク、先方ト打合セラシテ、出來ルダケ私ハ早く皆様ニ御知ラセスルト云フ手續ヲ執リタイト思ッテ居リマス、是ハ向フト話シタリ、又向フノ都合モアリマシテ、成ルベク公表スルト云フコトニ付テノ希望ガアリマス、其希望ニ對シテハ、適當ナ處置ヲ執ラナケレバナラスト存ジマス、五百万圓云々ト云フコトニ付テノ想像ガ當ルカト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、想像ハ其當ル當ラヌト云フコトハ、是ハ私ガ此處デ申ス譯ニハ行キマセヌガ、併シ又是ニハ更ニ之ヲ増加スル機會ダケハ始終アルモノダト斯ウ御承知ヲ願ッテ置キマス、而シテ兩國ノ此懸案ガ解決ノ曙光ヲ見レバ、之ヲ引摺ラレタト言ヒ、又之ヲ

停頓シテ居レバ、是ハ強硬ダト言ヒ、要スルニ是ハ何レニシテモ、無關係ノ人ノ言フ言葉デアルガ、兎ニ角外交ハ御承知ノ通り相手ノアルコトデアアル、此相手ニ依ッテ適當ノ處置ヲシテ行クノデアリマス、私ハ一日モ早ク此兩國ノ懸案ガ解決セラレルト云フコトヲ必要トシテ居ルノデアリマス、昨年ノ五月十八日ノ警告ノ此外交文書ニ付テノ御批評ガアリマシタガ、是ハ御批評ノ……文書ノ御批評ハ御隨意ト致シテ、私ハ五月十八日ノ警告ニ何ノ效果ガアッタカト云フヤウナ御尋ノヤウデアリマス、私ハ此五月十八日ノ警告ニ依ッテ滿洲ノ治安ハ適當ニ維持サレタ、又北支ノ兵亂モ之ヲ避ケ得タト云フコトニ付テ有效デアッタト信ジテ居リマス、又諸外國モ恐ラクハ是ハ認メテ居ルデアラウト存ジマス、又之ガ爲ニ私ハ諸外國ノ非難ヲ受ケ攻撃ヲ受ケタコトハアリマセヌ、引續イテノ滿鐵ノ行政權云々ノコトノ御尋デアリマス、是ハ陸軍大臣カラ何レ御答ヲ致スコトデアラウト存ジマスルガ、私ハ私ノ關スル限リニ於テ申シテ置キマス、恐ラクハ陸軍大臣ガ其事ニ付テ軍司令官カラ訓令ヲ請ハレ、之ニ依ッテ陸軍大臣ガ指圖ヲシタト云フコトハ、恐ラクハ無カラウト存ジマス、又陸軍大臣カラス様ナ報告ヲ未ダ會テ受ケテ居リマセヌ、ガ、此陸軍省ノ公報モ御引用ニナッタノデアリマスルカラ、何レ陸軍大臣ガ此事ニ付テハ御答ヲ致スコトデアラウト存ジマス、從テ陸軍大臣ガ之ニ訓令ヲ與ヘタカラ、ソレガ爲ニ此事態ノ調査ガ遅レテ居ルノカト云フ御尋ハ當ラヌノデアリマス、ガ、何レニシテモ此事態ノ調査ハ頗ル複雑デアリマス、又單リ日本人ノコトヲ調査スレバ、ソレデ物ガ濟ムト云フモノデハナイノデアリマス、各所ニ關係モ伏在シテ居リヤセヌカト云フコトモ考ヘナクチャナラヌコトデアリマス、ソレ故ニ慎重ニ今日ハ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君) 只今、矢吹男爵ノ御尋ニ付キマシテ、私陸軍ニ關係シテ居ル事柄ヲ御答ヘ致シマス、滿鐵ト京奉線トノ交叉ヲシテ居ル地點ノ警備ヲ一時ト雖モ支那側ニ讓ッタコトハ宜シクナイト云フ御質問デアリマシ

タ、是ハ一應御尤ノヤウニ伺ヒマスガ、陸軍省デ發表シマシタ公報ヲ、發表シマシタ詳報ヲ能ク御覽下サイマスト云フト、左程ニ之ヲ重大視サレル程ノ問題デアルマイト思フノデアリマス、關東軍司令部ハ滿洲ニ於ケル鐵道保護ノ責ヲ持ッテ居リマス、獨立守備隊司令官ハ鐵道守備ノ任ニ服シテ居リマス、一方ハ勅令、一方ハ軍令デアリマス、ソレヲ出先ノ者ガ變更スルト云フコトハ無論出來ルコトデハゴザイマセヌ、ガ、之ニ付キマシテ此詳報ニアル所ノ守備隊デ、時節柄はハ尤モノコトダカラト云フノデ、關係方面ト打合セヲシテ許シテヤラウデハナイカ、許シテヤッテ宜シイト云フ、斯ウ云フ打合セガ出來タノハ、詰リ輕ク取扱ッテ居ルノデアリマス、其輕ク取扱ッタノハドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ取調ベマシタ所ガ、從來滿洲鐵道ノ附屬地一切、ソレニハ支那側ノ武裝軍人ハ一切入レヌコトニナッテ居ル、警察官モ入レヌコトニナッテ居リマス、併ナガラ支那ノ大官ガ日本ノ大官ヲ訪問スル時ニハ、附屬地内ニ來ル場合ニハ、少數ノ護衛兵ヲ武裝ヲシテ、護衛兵ヲ連レテ來ルコトヲ慣例的ニ許シテ居リマス、サウシテ其慣例ハ相互的デアッテ、日本ノ大官ガ今度ハ附屬地ヲ出テ支那側ニ行ク場合ニモ、向フデモ許シテ居リマス、サウ云フ慣例ガアルノデアリマス、ソレカラ又我が皇族ガ滿洲ヘオ出デニナリマシテ、附屬地外ノ古戰場ヲ御覽ニオ出ニナルト云フヤウナ場合ニ、此方カラハ支那官憲ニ前以テ照會シテ置キマスト云フト、御警衛ノ爲ニ日本軍隊ヲ豫メ配置シ、御警衛ヲスルト云フコトヲモ、能ク承諾ヲシテ居ルノデアリマス、斯様ナ慣例ニ基イタモノデアリマシテ、之ヲ以テ單ニ法理上ノ根據カラ論難ヲサレルト云フコトハ、今マデノ實際ヤッテ來タコトニ對シテ當嵌ラスト存ジマス、現ニ大正十五年ノ七月ニ張作霖ガ旅順、大連ニ來訪シタ時ニハ、相當ノ護衛兵ヲ連レテ參リマシタ、皆此方カラ便宜ヲ與ヘテ居リマス、此事ハ單リ滿洲ノ軍隊ノミナラズ、陸軍ノミナラズ、關東廳モ滿鐵モ從來カラ能ク承知ヲシテ居ル事柄デアリマス、ソレカラ從ヒマシテ斯ノ如キ相互的ノ慣例ニ依ッテ、僅ニ憲兵數名ヲ交叉點ニ配置スルコトヲ一時許シタ、併シ其上ニハ滿鐵ヲ守備シテ居ル日本ノ守備隊デ警戒ヲ一ツモ緩メテ居ッタノデハアリマ

セヌ、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、守備隊ノ方カラ關東軍司令官ヘ指圖ヲ仰イダト云フコトモナシ、況ヤ軍司令官カラ陸軍大臣ヘ指揮ヲ請フタト云フコトモ全ク無イノデアリマス

〔男爵矢吹省三君演壇ニ登ル〕

○男爵矢吹省三君 只今、私ノ質問ニ對シテ總理大臣竝ニ陸軍大臣ヨリ御答辯ガアリマシタ、先ヅ以テ總理大臣兼外務大臣ノ御答辯ニ對シテ重ネテ御質問ヲ致シタイノデアリマス、私ノ質問ノ第一點トシテ伺ヒマシタ濟南出兵ニ依ッテハ、少シモ利益トシテ認ムベキモノガナイト自分ガ思フ、之ニ對シテ總理ノ御答ハ、アノ出兵ニ依ッテ支那人ノ日本ニ對スル輕侮ノ念ハ大分薄ライダ、其爲ニ日支國交上好キ影響ヲ與ヘタカノ如キ御口吻ガアッタノデアリマス、私共左様ニハ思ハナイノデアリマス、出兵ニ依ッテ支那人ガ日本ニ對シテ尊敬ノ念ヲ増シタカドウカト云フ點ニ付テハ、遺憾ナガラ尊敬ノ念ヲ増シタトハ見得ナイノデアリマス、田中總理ノ御覽ニナツタ點ハ、支那人ガ或ハマタ日本ガ出兵シヤセヌカト云フヤウナコトヲ怖レテ居ルガ爲ニ、其點カラ何等カ日本ト支那トノ間ノ問題解決ニ都合ノ好イヤウナ狀勢ガ起ッタモノト御覽ニナツテ居ルデハナイカト思フノデアリマスガ、若モ然リトスルナラバ、是ハ大ナル誤リデアラウト思フ、日本ガ直キニ出兵スルト云フヤウナ觀念ヲ支那人ニ持タシテ置クト云フコトハ、決シテ日支親善上好キ事柄デハナイコトハ疑ハレナイ點デアリマシテ、此好キ感ジヲ持タセル上ニ付テ出兵スルコトガ貢獻スルト云フコトハ有リ得ベカラザルコトデアリマス、從ッテ出兵ニ依ッテ支那人ガ我國ニ對シテ、輕侮ノ念ヲ薄クシタト云フコトヲ田中首相ガ仰シヤルナラバ、支那人ノ側カラ申セバ、或ハ此田中内閣ニ於テ、日本ノ支那ニ對シテ爲スコトハ、動モスレバ直キニ出兵スルカモ知ラヌト云フヤウナ感ジヲ持ッテ常ニ居ルコトデアラウト思フ、是ハ決シテ輕侮ノ念ヲ彼等ガ薄ラゲタノデハナク、寧ロ我國ニ對シテ其無謀ヲ嗤フモノデハナイカト思フノデアリマス、從ッテ萬一ニモ總理ガ此處デ御答辯ヲナサル便宜上、左様ナ言葉ヲ仰シヤルノミニ止マルナラバ宜シウゴザイマスガ、眞ニ出兵ニ依ッテ我國ニ對ス

ル支那人ノ輕侮ノ念ヲ薄カラシメタト云フ、是ガ日支國交上外交ヲ爲ス上ニ於テ利益ニナル事柄デアルト云フコトヲ、今尙ホ深く御感ジニナツテ居ルトスレバ、是ハ非常ナ間違デアル、是ガ爲ニ我が國家ニ今後ニ於テモ禍ヲ來スベキ場合ガ起リハシナイカト云フコトヲ、私ハ大イニ憂ヘル者デアリマス、從ッテ田中男爵ニ於テハ此點ニ付テ十分深く御考ヲ願ヒ、斯様ナルコトニ依ッテ我國ニ對スル支那人ノ尊敬ノ念ヲ増サシメルモノデアルト云フガ如キコトヲ、輕々ニ御考ヘニナル如キコトハナイヤウニ、支那人ヲシテ我國ヲ尊敬セシメルニ付テハ、自ラ他ニ途ガアルト云フコトヲ深く思フテ戴キタイト思フノデアリマス、次ニ濟南事件ノ解決ニ付キマシテ今日ノ新聞號外ニ依ッテ解決シタ、其解決ノ内容ニ付テハ言ヘナイト云フ仰セデアリマス、是ハ外交上ノコトデアリマシテ、或ハマダ御發表ニ相成ルコトガ困難ノ時カモ知ラヌト思ヒマスガ、聽テハ御發表ニナラヌケレバナラスコト、思フノデアリマス、解決ノ結果ヲ御發表ニナリ得ナイトシテモ、私ノ伺ヒマシタ七月ノ十八日ニ外務省ニ於テ公表サレマシタ濟南事件解決ノ根本方針、此基礎の四ツノ條件、是ハ飽ク迄モ維持スル御考ヲ以テ解決シタモノデアルカドウカ、之ヲ伺ッタノデアリマス、近來新聞紙上ヲ見マスルト云フトナカ、田中内閣ニ於テ御考ノ如ク、斯様ナ四ツノ條件ヲ以テ濟南事件ヲ圓滿ニ解決スルコトハムヅカシイト云フ事實ガ多ク報道サレルノデアリマス、其報道サレタ事實ヲ二三申セバ、國民政府ノ謝罪ト云フガ如キコトモ、此謝罪ヲナスニ付テハ共同調査會ヲ設ケナケレバナラスト云フコトヲ支那側ガ申シテ居ル、其共同調査會ヲ設ケルコトハ何ノ爲デアルカト云ヘバ、果シテ支那側ノミニ責任ガアルカドウカ、言換ヘルト支那側ノミニ謝罪スル筈デアルカドウカ、斯ウ云フヤウナコトモ調ベナケレバナラス、事ニ依ッタラ日本ガ謝罪シナケレバナラスノカモ知ラヌ、一概ニ支那側ガ謝罪スルコトハ出來ヌ、共同調査會ニ於テ調査シタ上、支那側ガ謝罪スベキカ、日本側ガ謝罪スベキカ、ソレヲ決定シャウト云フガ如キ意味ノ共同調査會ガ出來ルコトヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、果シテ然リトスルナラバ、是ハ政府ニ於テ七月十八日ニ御發表ニナリマシタ、此濟南事件解

決ノ根本方針トハ全ク異ツタモノデアリマス、其發表サレタモノニハ、先程モ指摘イタシマシタ通り、全然支那側ニ責任ガアルト云フコトヲ政府ハ明言シテ居ルノデアリマス、從ツテ我國ニ支那ニ對シテ責任ヲ持ツガ如キ御考ハ毛頭ナカッタモノデアアルコトハ確カデアリマス、然ルニ今日共同調査會ヲ設ケルガ如キコトニ御同意ニナッタモノトスルナラバ、支那側ニ責任ガアルト云フコトハ勿論ノ話、日本側ニモ責任ガアルカモ知ラヌト云フコトヲ、自ラ御考ヘニナッタ何物カガアルノデアラウト思フノデアリマス、即チ七月十八日ニ斯様ナ聲明ヲサレタ時トハ御決心ガ變タモノト私ハ言ハザルヲ得ナイト思フノデアリマス、次ニ又新聞紙ノ傳フル所ニ依リマス、賠償ノ如キコトモ到底賠償ハムヅカシイ、支那側カラ賠償ヲ取ルコトハムヅカシイ、結局ハ賠償ハ相殺ニナルデアラウ、即チ支那側ニ對シテモ日本側カラ賠償セナケレバナラス、其日本側ノ賠償義務ト支那側ノ賠償義務ト相殺シテ、差引兩者トモ賠償シナイデ済ムコトノ解決ラシイト云フコトモ新聞ニ現ハレテ居ルノデアリマス、若モ斯ノ如キコトガアッタトスルナラバ、益、是ハ容易ナラヌコトデアルト私ハ思フ、濟南出兵ハ在留民ノ保護ノ目的ノ爲ニ出兵シタモノデアルト云フコトハ、田中男爵ガ常ニ仰セノコトデアアル、其以外ニ何等目的ガナイ、而シテ是ハ七月十八日ノ外務省ノ公文ニ於テモ左様ナコトガ現ハレテ居リマシテ、此點ハ疑ヒナイモノデアルト思フノデアリマス、此在留民ノ保護ヲナサムガ爲ニ出兵シタ、然ルニ不幸ニシテ在留民ハ其保護ヲ受ケラレズシテ、而シテ此點ハ田中男爵ノ當議場ニ於テノ御答辯ニ依リマスルト、恰モ天災ニ依ッテ災厄ヲ受ケタモノト同様ニ警備區域ヨリ斷リナシ、或ハ自己ノ都合デ出タ爲ニ之ヲ保護シ得ナカッタト云フコトヲ言ハレルダケデ、結局十數名ノ邦人ハ虐殺ヲ受ケタノデアリマス、誠ニ氣ノ毒ナル犠牲ト言ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、政府トシテハ之ニ付テ大ナル責任ヲ感じナケレバナラヌモノト思フ、在留民保護ノ目的ノ爲ニ出兵シタニモ拘ラズ、其保護ノ目的ヲ達セズ虐殺ヲ見タ、此事自體ガ大ナル責任デアリマス、此點ハ幣原男爵ヨリモ、私、前議會ニ於テモ政府ノ責任ヲ問フタノデアリマスガ、此點既ニ重

大ナル責任デアアル、況ヤ此濟南事件ヲ解決スル場合ニ於テハ、此十數名ノ犠牲者ノ靈ヲ慰メ、同時ニ支那側ノ不都合ナル行動ヲ天下ニ示シ、而シテ幾分デモ其遺族ヲ慰メル意味ニ於テモ、此十數名ノ犠牲者ニ對シテ賠償ヲ取ラナイデ此場合ノ解決ガ相済ムモノデアアルカドウカ、何人モ相済ムモノナリト言フ人ハ天下一人モ無イト信ズルノデアリマス、然ルニ新聞ニ於テハ相殺ニナルカモ知ラヌト云フコトヲ申シテ居リマスガ、是ハ決シテ左様ナコトハナイ、賠償ハ矢張り取レルノダト云フコトヲ、此壇上ニ於テ御斷言下サイマスカ如何デスカ、此點ヲ重ネテ伺ヒタイト思フノデアリマス、又私ガ何ヤラ最近ノ日支交渉ニ於テハ支那側ニ引摺ラレテ來テ、當初ノ御所信ヲ枉ゲラレツ、アルノデハナイカト云フヤウナコトヲ伺ヒマシタニ對シテ、總理ノ御答辯ハ兩國ノ親善關係ヲ理解シ、支那ヲシテ建設ノ事業ニ成功スルヤウニ之ヲ助ケテヤリタイ、斯様ナ精神、是ハ洵ニ結構ナ精神デ、是非左様ニ御考ヲ願ハナケレバナラヌコトト思ヒマスルガ、此御考ガ今少シ早ク此内閣成立ノ時ニ此御考ガ出來タナラバ國家ノ爲ニ何程仕合せデアッタカト云フコトヲ私ハ深ク惜ムモノデアリマス、此御考ヲ以テ對支外交ヲ爲サル御積リデアッタナラバ今日ノ如キ行詰リヲ生ズルコトモナカッタト私ハ思フ、此御考ガナカッタカ、或ハ乏シカリシ爲ニ、濟南出兵ヲ爲シ、或ハ南北妥協中止ノ勸告ヲ爲ストカ、其他東方會議ヲ開クトカ云フ、支那ヲ刺激シテ對支外交ヲ爲ス上ニ於テ惡シキ結果ヲ導クガ如キ措置ヲ幾多御執リニナッタノデアリマスルガ、左様ナ御措置ハ此御考ガ、今日御答辯ニナルガ如キ御考ガ組閣ノ當時アッタモノトスルナラバ、左様ナ無益ナル措置ハ御執リニナラナカッタモノデアラウト私ハ信ズルモノデアリマス、深ク此點ヲ此内閣ノ爲ニ惜シムモノデアリマス、ソレカラ關稅ニ付テノ協定ニ關スル御答辯中ニ、官報ニ公表サレマシタ以外ニ、關稅ニ關シテ兩國間ガ取極メタ他ノ事柄ハ未ダ發表シ得ナイト云フ御言葉デアリマス、ソレモ御都合上已ムヲ得ナイコト、思ヒマスルガ、私ハ此度ノ關稅取極ニ於テ果シテ不確實債務ノ整理ガ、當初我國ガ期待シタガ如キ條件ニ於テ解決シタモノデアアルカ、ドウカラ深ク疑フモノデアリマス、斯様ナ疑ヲ有ッテ居リマ

スカラ御發表ヲ願ッタノデアリマスケレドモ、御發表ナイトスルナラバ致方ゴ
ザイマセヌ、併ナガラ廳テハ此事ハ發表サルベキコトト思フノデアリマシテ、
若モ世間傳フルガ如ク不十分ナル條件ニ於テ不確實債務ノ整理ノ問題モ決マ
リ、或ハ釐金撤廢ノ如キコトニ付テ餘リ多クノ保障ヲ得ナクテ濟ンデ居ルト
云フガ如キコトガアリトスルナラバ、是ハ政府ニ於テ相當責任ヲ御持チニナ
ラナケレバナラスコトト思フノデアリマス、而シテ斯ノ如キ結果ヲ持來シテ
迄モ政府ガ此際關稅協定ヲ急ガシタト云フコトハ、即チ私ノ言葉デ申ス引摺
ラレタト云フコトデアラウト思フノデアリマス、デ關稅協定ノ内容ヲ御發表
ニナルコトハ御無理デアリマセウカラ、敢テ是レハ求メマセヌガ、唯後日我
我トシテ此取極ノ稅率、取極ニ伴フ他ノ點、即チ不確實債務、或ハ釐金撤廢等
ニ付テノ兩國間ノ取極ガ我國ニ十分ナル利益ヲ持來サナイモノデアッタ場合
ニハ、世間又議會ニ於テ相當政府ノ責任ヲ論ゼラルベキ場合ガアルモノデア
ルト云フコトヲ豫メ申上ゲテ置クノデアリマス、尙又是等ノ交渉ニ於ケル政
府ノ御考ノ一ツトシテ、外交ハ相手ノアル仕事デナカ／＼サウ思フヤウニハ
ナラスト云フガ如キ意味ノ御答辯ガ只今アリマシタ、ソレハモウ誠ニ御尤ナ
事デアリマシテ、相手ノ意思ヲ俟タザレバ外交ノ出來ナイコトハ當然デアリ
マス、此外交ニ於テ相手ノ意思ヲ見ルト云フコトノ必要ナルコトヲ、田中男爵
ガ此席ニ於テ御言明ニナッタコトハ何ヤラ異様ニ感ゼラレルノデアリマス、ト
申シマスノハ相手ノ意思ヲ種々忖度シテ爲スノガ外交デアルト御考ヘニナッ
タナラバ、今日マデ色々ナ所謂我々が見タ失態ヲ爲サラスデモ濟ンダノデハ
ナイカ、支那國民ノ意思、支那政府ノ欲スル所、ソレ等ヲ無視シテ外交ヲサレ
タノガ今日ノ禍デアルト我々ハ言フノデアリマス、然ルニ今ニシテ相手ガ……
、外交ハ相手ガアルカラト言ハレルノハ何事デアルカ、左様ナラバモット早
クカラ此相手ノ心理ヲ御研究ニナリ、之ニ對應シタル策ヲ執ルベキモノデア
タラウト信ズルノデアリマスガ、此點ニ付テハ田中内閣ノ爲ス外交ハ甚ダ遺
憾ナ點ガ多カッタト云フコトヲ、私此席ニ於テ申スノデアリマス、次ニ滿洲ノ
治安維持ノコトニ付テ伺ヒマシタ、其點ノ御答辯中ニ五月十八日ノ聲明ニ依ッ

テ滿洲ノ治安ハ十分維持サレタト云フコトヲ仰セニナッタノデアリマス、田中
男爵ハ治安維持ト云フコトハ如何ナルコトヲ意味スルモノデアルカト云フコ
トヲ、御承知ナクテ左様ナコトヲ仰シヤルモノナラバ、致方アリマセヌ、併
ナガラ治安維持トハ何ゾヤト云フ質問ニ對シテ、當然田中男爵ハ答ヘ得ル御
方デアルト云フコトヲ深ク信ズル以上ハ、斯カル五月十八日ノ聲明ヲ爲サタ
以來滿洲ノ狀況ヲ御覽ニナッテ、尙且ツ治安ハ維持セラレタト云フコトハ何故
デアルカ、決シテ治安ハ維持サレタノデハナイノデアリマス、現ニ只今私ガ
指摘イタシマシタ通り、六月四日早朝ニ於テハ張作霖ノ通過スル……乗ッテ居
リマシタ列車ガ滿鐵ト京奉線トノ交叉點ニ於テ爆破サレタデアリマセヌ
カ、此爆破ノ如キコトハ治安ヲ紊亂シタト言ヒ得ナイノデアリマスカ、我々
ハ斯ノ如キ事態ヲ以テ治安紊亂セリト申スノデアリマス、然ルニ田中男爵ハ
左様ナコトヲ以テ依然トシテ治安ヲ維持セラレタリト申スノハ、實ニ不可思
議千萬デアリマス、滿鐵附屬地ニ於テ張作霖ノ乗ッテ居ッタ列車ガ爆破サレタ、
其事自體ガ實ニ重大デアリマス、之ニ依ッテ滿洲ノ治安ハ如何ニ紊亂スルカモ
知レスト云フ虞ヲ何人モ懷イタノデアリマス、現ニ又先程ノ質問中ニモ申シ
マシタ通り、其後奉天市中、又其附近ニ於キマシテハ爆裂彈ヲ投棄スル者ア
リ、又日本人ニ對シテ種々迫害ヲ加ヘル者アリ、而シテ物情騷然タル事態デア
ッタコトハ是ハ事實デアリマス、即チ爆破ト云フコトガ種々不安ナルコトヲ惹
起ス……唯爆裂彈ガ爆裂シタバカリデハナイ、張作霖ト云フ……滿洲ノ元首
トモ謂ハレル張作霖ガ之ニ依ッテ死ンダト云フ以上、此事ハ治安紊亂ト言ハナ
ケレバナラス、殊ニ又其原因ガ我が國軍ガ支那側ニ守備ヲ委任シタコトニ依ッ
テ、左様ナル治安紊亂ノ機會ヲ與ヘタモノデハナイカト云フ疑ヲ世間ニ持タ
セル以上ハ、我が政府ノ責任相當大イナルモノガアルト思フノデアリマス、
然ルニモ拘ラズ何等張作霖爆破事件ノ起ラザリシ場合ト等シク、五月十八日
ノ聲明ニ依ッテ滿鐵ノ治安ハ遺憾ナク維持サレタト申スガ如キコトハ、實ニ甚
ダ不誠意ナル御答辯ト思ッテ、遺憾ヲ禁ジ難イノデアリマス、次ニ又總理ヨリ
モ御答辯ガアリマシタガ、陸軍大臣ハ何等村岡司令官ニ指揮ヲシナカッタ云

フコトヲ仰セニナリマシタ、シテ見マスル條約上持ッテ居リマスル我國ノ重要ナル權利ヲ拋棄スルガ如キコトニ付テ、出先ノ官憲タル村岡司令官ガ獨斷ニ於テ爲シタト云フコトニ付テ、内閣ハ如何ニ之ヲ御覽ニナルノデアリカ、ソレヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、次ニ陸軍大臣ノ御答辯ニ付テ重ネテ伺ヒタイト思フ、陸軍大臣ハ六月十二日ノ公報ノ中ニ掲ゲタ通り、各方面ト打合せノ上支那側ニ其警備ヲ委シタト云フコトハ、決シテ重イコトデハナイ、極ク輕イコトデアル、丁度張作霖ガ旅順へ來ラレタ時ニ儀仗兵ヲ連レテ來テ、ソレヲ日本側ガ入レテヤッタト云フノト等シイモノデアル、又日本ノ大官ガ支那ノ領土ヲ通ル場合ニ矢張り日本ノ兵隊、憲兵等ガ之ヲ護衛シテ行ク、是ト少シモ違ハナイ、此意味ニ於テ出先ノ官憲ガ取扱ッタノダ、從テ守備隊長限リヤッタ仕事デ、關東軍司令官アタリハ一切之ニハ關係ガ無カッタト云フ如キ御答辯デ、至ッテ輕ク此事ヲ取扱ッテ居ラレルノデアリマス、陸軍大臣ノ答辯ハ、衆議院ニ於テ色々ナ機會ニ於テ御答辯等モ一通リ速記録ヲ拜見イタシマシタガ、色々ニ變ッテ居ル、其時ニ臨ンデ色々變ッテ答ヘラレテ居ル、初メノ御答辯ガ其儘、今日マデ維持サレテ居ラヌノデアリマス、即チ或ル場合ニ於テハ此警備ヲ支那側ニ委シタト言ハレテ居ル、他ノ場合ニ於テハ唯支那ノ兵隊ヲ數名其處ニ列ベタニ過ギナイ、斯様ニ言ッテ居ラレル、又他ノ場合ニ於テハ晝ハ眼デ以テ警戒シ、夜ハ動哨ニ依ッテ警戒ヲシテ居ル、即チ讓ッタノデハナイ、守備ハ依然シテ居ッタンダト云フ意味ノ御答辯デアリマス、ソレデ又先程ノ御答辯ノ如キ御答辯モ衆議院ニ於テモ爲サッテ居ルノデアリマス、而シテ最後ニ衆議院ニ於テ、陸軍大臣ガ御答ヘニナッテ居ルノニ、アノ六月十二日ノ公報ハ事實ニ誤リガアルカモ知レヌ、從テ將來訂正スルカモ知レヌト云フコトモ言ッテ居ラレル、サウスルト陸軍大臣ノ仰シヤルコトハノベツ其場々々變ッテ行ク、遂ニハ陸軍ノ公報迄モ否認スルコト云フ御考ノヤウニ伺フノデアリマス、甚ダ御答辯ノ苦シイコトハ察セラレルノデアリマスガ、責任アル大臣ガ議會ニ於テ御答辯ナサル態度デナイコトハ明カデアリマス、一體陸軍大臣ハ決シテ守備ヲ支那側ニ委セタノデハナイ、飽ク迄モ日本側ガ守備シテ居ッタノダト

云フ御考デアリマスルガ、此陸軍公報ヲ見マシテモ、「本來支那軍隊又ハ警察官等ヲ配置スル能ハサル地域ナリ」ト言ッテアルノデアリマス、先程仰セノ如ク一ツノ儀式的ノ、儀仗兵的ノモノデアッタナラバ、何モ斯様ナ言葉ヲ用キテ公報ヲ以テ發表スル必要ハナイノデアリマス、支那ノ軍隊ヲ以テ張作霖ノ身邊ヲ警戒スルコト云フヤウナコトハ毎度ノコトデアル、ソレハ慣例ダト云フコトヲ言ハレタノデアリマスルガ、左様ナ慣例ノコトヲ書ク意味ナラバ、此公報ニ左様ナ言葉ヲ用キル必要ハナイノデアリマス、然ルニ明カニ「本來支那軍隊又ハ警察官等ヲ配置スル能ハサル地域ナリ」所謂我日本ノ絶對的、排他的行政權ヲ有ッテ居ル地域ナリト云フコトハ、公報ノ上ニ明瞭シテ居ルノデアリマス、尙ホ儀仗兵的ノモノデナイト云フコトノ證據トシテハ、此公報ノ中頃ニ「支那側ハ陸橋上即チ滿鐵線路上ニモ憲兵ヲ配置シ度キ希望ナリシモ、之ハ容諾スベキ限リニ非ラザルヲ以テ陸橋上ハ日本守備隊、當日特ニ將校ヲ附シ人員ヲ増加ス」トシテアリマス、守備隊ニ於テ警戒シ陸橋下即チ京奉線路上ハ支那憲兵ニ依リ警戒セシメ我が警戒兵ハ陸橋南方約二百米突ノ分遣所ニ位置シ晝間ハ分遣所々屬展望臺上ニ配置セル歩哨ヲ以テ夜間ハ動哨ニヨリ陸橋上ヲ監視警戒スルコトニシ」云々トシテアリマス、即チ儀仗兵的ノモノデアッタトスルナラバ、支那側ガ陸橋上ニモ支那兵ヲ配置シタイト云ッタ場合ニ之ヲ拒ムコトハ要ラヌノデアリマス、當然之ヲ容諾シテ差支ナイノデアリマス、併シ之ヲ拒ンダト云フコトガ公報ニ書イテアル、是レ即チ守備ヲ支那兵ニ委セル意味デアッタカラデアリマス、今日一ツノ儀禮的ノモノデアルト仰セニナリマシタコトハ、今日取敢ヘズ御答辯ノ都合上仰ッタルコトデアッテ、此公報ヲ以テ御發表ニナル時ハ左様ナ御意思デナカッタト云フコトハ明カニ公報ノ上ニ現ハレテ居ルノデアリマス、又儀式的ノモノデ、詰リ儀仗兵的ニ支那ノ憲兵ヲ入レタト云フモノデアッタナラバ、何モ我警戒兵ハズツト南方約二百米突ノ分遣所ニ位置シ、其處へ退却シテ其處カラ遠クノ方カラ晝間ハ眼デ以テ見、夜ハ動哨デ以テヤルガ如キ苦シイコトヲナサル必要ハナイノデアリマス、晝デモ夜デモ常ニ其處ニ我兵ヲ置イテ警戒ガ出來タノデアリマス、併シ委シ

タガ爲ニ左様ナコトが出来ナクテ、分遣所ノ展望臺カラ之ヲ見ナケレバナラヌヤウナ苦シイ不便ナ狀況ガ造ラレタモノデアルト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、尙又自己自身ガ直接守備スルモノデナイト云フガ爲ニ、狀況ノ判斷ト申シマス、狀況ヲ見ル上ニ於テ甚ダ不十分デアッタト云フコトモ、此公報ノ上ニ指摘サレルノデアリマス、即チ其公報ノ末段ニ「日本側ニテハ三日夜中既ニ張作霖ノ列車ハ通過シ終リタルモノト想像シ居リシ程ナリ」ト云フコトガ書イテアリマス、陸軍大臣ノ御答辯ノ如ク決シテ守備ヲ讓ッタノデハナイ、支那ノ兵隊ヲ唯儀仗兵ミタヤウニ列ベタニ過ギナイト云フヤウナコトデアッタナラバ、張作霖ノ列車ガ何時通ッタカ知ラナイデ居タト云フガ如キコトハ有リ得ベカラザルコトデアリマス、張作霖ハ貴賓車ニ乗ッテ居ッタト云フコトデアリマス、又食堂車モ附イテ居ッタト云フコトデアリマス、從ッテ多數ノ列車ガ通ッタトシテモ警戒ニ當ッテ居ッタ守備兵ハ必ズヤ是ガ張作霖ノ列車デアルト云フコトヲ知ラナイ筈ハナイノデアリマス、然ルニ之ヲ知り得ナイト云フコトガ、公報ノ終リニ書イテアルノハ、結局其守備ヲ支那側ニ委シテ、

守備兵ハ唯分遣所ノ中ヘ引込シテ、晝間ハ眼デ以テ其處カラ見、夜ハ動哨デ橋ノ上カラ監視シテ居ルト云フ位ノ程度デアッタカラ、張作霖ノ列車ガ何時通ッタカ知ラナカッタノデアリマセウト思フノデアリマス、然ラズシテ陸軍大臣ノ言フガ如ク唯單ニ輕イモノデ、支那ノ兵隊ヲ儀仗兵ミタヤウニ列ベタニ過ギナイト言ハル、カラニハ、張作霖ノ列車ノ何時通ッタカ分ラナイ筈ハナイノデアリマス、之ヲ要スルニ陸軍大臣ハ種々ノ機會ニ於テ答辯ニ窮スルノ餘リ常ニ其御答辯ヲ變更サレ、遂ニハ六月十二日ノ公報ニ、陸軍大臣ハ公報ニ悖ルガ如キ御答辯ヲナサルノ已ムヲ得ザルニ至ッタ、從テ六月十二日ノ公報マデ又訂正セムト欲スルニ至ッタノデハナイカト私ハ推察スルノデアリマス、而シテ私ガ斯ク申スガ如ク、滿鐵沿線ノ守備ノ爲ニ有ッテ居リマスル日本ノ重大ナル權利、絶體的排他的行政權、之ヲ讓ッタト云フコトハ實ニ重大ナルコトデアッテ、陸軍大臣ガ言ハル、ガ如ク簡單ナモノデハ決シテナイノデアリマシテ、私ノ見解ノ如ク既得ノ重要ナル權利ヲ讓ッタモノデアッタトスルナラバ、陸

軍公報ニ現ハレタルガ如キ處置ヲ出先官憲ガ爲シタルコトニ付テ、陸軍大臣ハソレハ唯守備隊長限リニ於テナサレタトシテ平然トシテ居ラル、コトデアルカドウカ、重大ナル權利ノ拋棄ハ關東軍司令官ニ於テモ獨斷ニ於テ爲シ能ハザル所デアリマス、從ッテ當然陸軍大臣ノ指揮ヲ仰グベキモノデアッタウト思フノデアリマスルガ、陸軍大臣ハ此點モ御否認サレテ居リマス、村岡司令官ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ仰ガナカッタノミナラズ、守備隊長モ關東軍司令官ノ指揮ヲ仰ガナカッタ、斯様ニ言ッテ居ラレル、併シ性質ハ實ニ重大ナルコトデアッテ、既得ノ權利ヲ拋棄スルト云フコトノミナラズ、其結果カラ見テ先程申シタ通り、滿洲ニ於テ實ニ近來我々ノ見得ザル位ノ重大ナル事件ガ起ッタノデアリマスニモ拘ラズ、左様ナル處分ヲ守備隊長ガ獨斷デヤッタノデアルト云ッテ此處デ御答辯ニナリ、而モ尙ホ其事ヲ以テ少シモ怪シマズニ居ラレルト云フコトハ何事デアルカ、私ハ陸軍大臣ガ此事ニ付テ如何ナル責任ヲ感ジテ居ラレルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、重ネテ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 矢吹男爵ノ重ネテノ御尋デアリマス、私ガ支那人ノ輕侮ヲ招クト云フコトノ意義ヲ申シタト云フコトカラ、出兵ノ濫用ニ陷ルベカラザルコトヲ御述べニナッタノデアリマス、私モ所謂兵ハ兇器ナリ、濫リニ用フベカラズ、極メテ千萬已ムヲ得ヌ時デナケラネバ、斯様ナ事ヲ致スベキモノデナイト云フコトハモウ能ク存ジテ居リマス、又是ガ濫用ト云フコトハ國交ノ上ニハ固ヨリ慎マナクチャナラスノデアリマス、是ハモウ申スマデモナイコトデアリマス、シテ濟南ノ交渉ハ、アナタガ御述べニナッタ四ツノ要件ノ基礎ニ立ッテ交渉ヲシテ居ルカト云フコトハデス、固ヨリデアリマス

〔大聲ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

其結果ハ共同調査或ハ賠償ト云フコトノ趣旨ニモ進ンダヤウデア、是ハ果シテ共同調査ヲスルノデア、ルカドウデア、ルカト云フコトハ、遺憾ナガラ今之ヲ御答ヲスル時ノ來ナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス、今少シ經チマシタ

ラ之ヲ詳シク御知ラセスル時ガ來ルデアラウト存ジマス、此結果ニ付イテハ
マダ私ハ公報ヲ手ニセナイノデアリマス、關稅協定ノ發表セラレル場合デア
リマシタラ、賠償金……否無擔保物整理ナドニ付テノ御疑ノ點モ多々アルデ
アリマセウ、又御意見モ承ルベキ機會モアラウト思ヒマス、其機會ニ又御答
ヲスルコトガアリマセウ、滿洲ノ治安云々ト云フ問題ト、五月十八日ノ警告
ノ關係ニ付テ、先刻私ガ申シタノデアリマス、私ハ五月十八日ノ警告ハ、確ニ
滿洲ヲシテ兵亂ノ巷タルヲ免レシメタト考ヘテ居リマス、又私ハ張作霖氏ノ
爆死ノ爲メ一時ノ恐慌ハ起ッタノデアリマセウケレドモ、是ガ爲ニ治安ガ亂レ
タトハ考ヘテ居リマセウ、從テ張作霖氏ノ爆死ハ如何ニモ、滿鐵ノ「クロッス」
ノ下デア、云フ事ガ起ッタノデアリマスカラ、如何ニモ殘念ナ事デアリマス、
併ナガラ此人ハ自己ノ鐵道デ自己ガ運轉ヲシテ、而シテ自分ノ勢力下ヲ自分
デズット通ッテ來テ居ルノデアリマス、其場所ガ偶、此滿鐵トノ「クロッス」ニ
ブツカッテ事件ガ起ッタノデアリマス、デアリマスカラ此張作霖氏ノ爆死ハ
洵ニ痛嘆スベキ事デアリマスケレドモ、ソレ自體ガ滿洲ノ治安ヲ維持サレヌ
デハナイカト、五月十八日ノ警告ニ御結付ケニナルト云フコトハ如何ナルモ
ノデアルカ、私トシテハ此點ニハ御承服ガ出來ヌノデアリマス

〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君) 只今矢吹男爵ノ再度ノ御尋デゴザイマスルガ、私
ガ衆議院ニ於テ屢々答ガ變ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ仰セニナリマス、ソレハ
斯ウ云フ事實デゴザイマスカラ誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キマス、豫算總
會ノ初メニ中野君カラ、此陸軍省發表ノ張作霖遭難ニ關スル詳報ヲ、引例ヲ
サレテ御尋ガアッタ、其時ニ私ハ之ヲ持ッテ居ラナイ、ソコデ頭ニ大體殘ッテ居
ル事ヲ御答ヲシテ置イタイノデゴザイマス、其晚ニ歸リマシテ之ヲ見マシタ
結果、誤解ヲ生ジテハイカスト思ヒマシタカラ、翌日ノ矢張り豫算總會ニ於
キマシテ、行政權ヲ拋棄シタノデハナイ、唯支那ノ憲兵ノ配置ヲ許シタニ
止マルト、斯ウ云フコトヲ申シテ置イタイノデアリマス、ソレカラ又後デ答ガ
違ッテ居ルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、ソレハドノ點デゴザイマシタ

カ、ハッキリ私ハ聽取レマセヌデゴザイマシタガ、確カ衆議院ノ本議場デゴザ
イマシタカ、此詳報ト云フモノハ今後ニ於テモ訂正スルコトハナイカ、目下
取調中ト云フノデアルガ、取調ノ結果ニ依ッテ訂正スルコトガアルカト、ソコ
デ私トシテハ、若シ調査ノ結果ニ依ッテ必要ガアレバ訂正ヲスルカモ知レマセ
ヌ、ト云フノハ此中ニハ想像ガ加ヘテアリマス、想像ノ事柄ガ調査ノ結果ニ
依ッテ判明スレバ、斯様デアッタト斯ウ訂正スルカモ分ラヌ、ト云フ意味ヲ申
シテ居ッタノデアリマス、私ハ苟モ此職ヲ奉ジテ居リマシテ、言葉ヲ左右ニシ
テ曖昧模糊ニスルト云フヤウナ考ハ、毛頭有ッテ居リマセヌ、ソレハ御承知ヲ
願ヒマス、ソレカラ滿鐵ト京奉線トノ交叉點デアノ事件ガ起キタノデカラ、
陸軍大臣モ責任ガアルデヤナイカト斯ウ云フ御尋デアリマス、先刻モ申シマ
シタ通りニ、關東司令官ハ滿洲鐵道ヲ保護スル任務ヲ有ッテ居リマス、獨立守
備隊ハ直接ニ鐵道ヲ守備スル任務ヲ有ッテ居リマス、其守備上ニ缺陷ガアレ
バ、其者ガ處罰ヲサレルコトハ當リ前デアリマス、ガ京奉線ノ列車ヲ保護ス
ルト云フ任務ハ有ッテ居リマセヌ、京奉線ノ列車ノ中ノ遭難ノ事ニ付テ、日本
ノ陸軍大臣ガ責ヲ負フカ否カト云フコトハ、私トシテハ斯ウ云フ問題ハ起ル
必要ハナイデハナイカ、斯ウ存ジテ居リマス、ソレダケ御答ヘ致シマス

○男爵矢吹省三君 此席カラ御伺ヒ致シマス、先ヅ以テ陸軍大臣ノ只今ノ御
答辯ニ對シテ重ネテ御伺ヒ致シマス

〔男爵矢吹省三君演壇ニ登ル〕

○男爵矢吹省三君 陸軍大臣ハ只今答辯ガ色々變ルト云フコトヲ私ガ申シタ
ノニ對シテ最初ハ公報ナルモノヲ見ナカッタ、從テ中野君ノ質問ニ對シテ適當
ナル答ガ出來ナカッタ、翌日ハ公報ヲ見タ、從テ見タ上ノ答辯ハ自ラ變ルンダ、
斯様ニ仰セニナリマシタ、是ハ陸軍大臣トシテ一應ノ御答辯ノ積リカモ存ジ
マセヌケレドモ、陸軍大臣トシテノ御職責ヲ持ッテ居ラシヤル以上、左様ナ
コトヲ以テ答辯シ得タモノト御考ヘニナルコト自體ガ陸軍大臣ノ責任デハナ
イカト思フノデアリマス、即チ六月十二日ノ公報ノ内容ハ實ニ重要ナル事ガ

書キ現ハサレタノデアリマス、平生、日常陸軍省デ發表サレル通常ノ公報トハ譯ガ違フノデアリマス、從テ六月十二日ノ公報ハ如何ナル内容デアッタカト云フコトハ御承知ナイ筈ハナイノデアリマス、御承知アツテ御答辯ガ中野君ノ質問ニ對シテ、委シタ、支那側ニ警備ヲ委シタ、斯ウ云フコトヲ言ハレタ、然ルニ同様ナ御答辯ヲナサッタコトハ、其後ニ於テ答辯ナサル上ニ不便ダト云フコトヲ御考ヘニナッタノデアリマセウ、其後ニ於テハ委シタト云フコトヲ仰ッシヤラナクナッタ、詰リ陸軍公報ヲ御承知ナク、斯様ニ答ヘタト仰ッシヤイマスガ、御承知ナイ筈ハナイノデアリマス、而シテ若モ之ヲ御承知ナカッタト斯ウスレバ、自己ノ所管事務ニ付テノ重大ナル事ニ付テモ、至ッテ不注意ナル取扱方ヲシテ居ル、例ヘバ滿洲ニ於ケル我國ノ守備ヲ支那側ニ委スト云フガ如キ重大ナル處置ヲシタコトニ付テモ陸軍大臣ハ一向御承知ナカッタト云フコトダッタト思フノデアリマス、御承知ナカッタトスレバ中野君ノ質問ニ對シテ間違ッテ答ヘタト云フコトモ言ヘマスガ、今申シマシタヤウナ點ヲ御承知ナカッタト云フコトハ、陸軍大臣ハ所謂所管大臣トシテ誠ニ無責任ナコトデアッタト思フノデアリマシテ、此點カモ陸軍大臣ノ責任ハ有ルモノト私ハ思フノデアリマス、又私ガ陸軍大臣ノ責任ヲ問フタニ付キマシテ、滿鐵ノ交叉點デ此京奉線ノ列車ガ爆破シタ、我ガ陸軍ハ京奉線ノ列車ヲ警備スル責任ハナイ、從テ陸軍大臣ノ責任ハ無い、ソレヲ責任呼ハリラスルノハ何事デアルカ、斯カル意味ノ御答辯デアリマシタ、私ノ先程問フタノハ、ソレトハ意味ガ違フノデアリマス、條約上許シテ居ル既得ノ重大ナル權利ヲ出先ノ……陸軍大臣ノ言フガ如クンバ、出先ノ守備隊長ノ如キ比較的下ノ人ノミノ取計ヒニ於テ其權利ヲ拋棄シタト云フコトハ誠ニ重大ナル事デアル、我々ハ左様な事ハアリ得ルトハ信ジ得ナイノデアリマス、必ズヤ村岡司令官ノ指揮ヲ仰ギ、次デハ陸軍大臣ノ指揮ヲ仰イダコトト信ズルノデアリマス、暫ク陸軍大臣ノ御答辯ヲ眞實トシテ守備隊長限リノ處置デアッタト見テモ、陸軍大臣ニ責任ハアルト思フ、左様な國家ニ重大ナル影響ヲ與ヘル權利ノ拋棄ヲ、大臣ノ管轄内ノ守備隊長ガ易々ト獨斷ニ於テ之ヲ拋棄シタト云フコトハ、實ニ責

任上重大デアルト思フ、之ヲ以テ私ハ陸軍大臣ノ責任ヲ問フタノデアリマス、只今ノ御答辯ハ私ノ問フテ居ル所ト筋違ヒノ御答辯デアリマス、今一應御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ總理大臣ノ御答辯ニ、濟南事件ノ解決ニ付テ依然トシテ七月十八日ノ方針ヲ維持シテ居ルノダ、此四箇ノ基礎的ノ條件ハ動カサナイト言ハレマシタ、而シテ如何ナル解決ヲ見タカト云フコトハ今發表ハ出來ナイ、又御言葉ノ中ニ日支共同調査會ノ如キモノヲ設ケルコトニナッタコトニ付テ御否認ハナカッタノデアリマス、從テ左様な調査會ノ如キモノガ設ケラレルカモ知ラヌト私ハ思フ、是ガ設ケラレルトスルナラバ、是ハ今日ノ場合已ムヲ得ナイコトトシテモ、少クモ七月十八日ニ御聲明ニナッタ當時ノ御決心トハ違ッタモノト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、而シテ賠償ノコトニ付テ先程私ガ申シマシタガ、此賠償ノ點ハ如何ニナルノデアリマスカ、恐ラク新聞紙ノ傳フル如ク兩國間ニ相殺ニ相成ルデハナイカ、此點モ今、總理ハ發表ハ出來ナイ點デアルト仰シヤルノデアリマスルガ、從テ私ハ假定ヲ以テ論ズルヨリ外ナイノデアリマス、若モ新聞紙ニ言フガ如ク賠償ハ取レズ兩國間相殺ニ終ル、斯様ナコトニ相成ッタナラバ、政府ハ如何ナル面目ガアルカ、政府ノ責任ハ如何ニスルカト云フコトヲ私ハ申サザルヲ得ナイノデアリマス、總テ國務ハ責任ヲ以テ處理シテ行クト云フコトガ當然デアリマス、昨年濟南出兵ヲサレタノモ政府ガ在留民ヲ保護サレル責任ヲ感セラレタカラコソ出兵ヲセラレタノデアリマセウ、而シテ出兵ノ結果生ジタル結果ニ付テ政府ハ又其責任ヲ感ジテ、其責任感ヲ以テ此事件ノ解決ニ當ラナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、而シテ其解決ニ當ッタ結果ハ在留民……虐殺サレタ在留民ハ賠償モ取ルコトハ出來ズ、徒ニ泣寢入ニ終ルト云フガ如キコトガ萬一アッタトスレバ何ノ爲ニ出兵シタノデアルカ、又何ノ爲ニ在留民ヲ保護シナケレバナラヌト云フ責任ヲ政府ガ持ッテ居ルノデアルカ、責任ヲ持ッテ居ル以上ハ、在留民ノ斯カル被害ニ對シテ賠償ナシニ終ルト云フコトガ萬一アルトスルナラバ、實ニ政府ノ重大ナル責任デアルト思フノデアリマス、況ヤ之ヲ南京事件ノ解決ニ比較シテ見マス、一層其政府ノ責任ノ大ナルコトヲ思

フノデアリマス、南京事件ハ既ニ英、米、佛蘭西、伊太利ノ間ニ昨年ノ四月以降十月迄ノ間ニ解決シタノデアリマス、然ルニ濟南事件アリシガ爲ニ、日本ト支那トノ間ニハ此南京事件ニ付テノ解決ガ未ダニ出來ナイ、而モ日本以外ノ國ハ支那ト南京事件ヲ解決イタシマシタ其跡ヲ見マスルト、何レモ支那政府ノ謝罪ヲ得、又責任者ノ處罰ヲ求メ賠償モ得、將來ノ保障ヲ與ヘラレテ居ル、此政府ノ濟南事件ニ於テ決メマシタ四箇ノ條件ハ、南京事件ノ解決ニ付テハ日本以外ノ他國ハ何レモ得タノデアリマス、而シテ日本ト支那トハ、此南京事件ノ解決ニ付テ、列國ガ爲シタ如キ解決ヲ得ラレナイカト申シマスルト、是ハ寧ロソレ以上ノ條件ガ得ラレタモノト私ハ信ズルノデアアル、何トナレバ南京事件起リテ後間モナク、支那側ハ誠意ヲ以テ此事件ハ單リ他ノ國ハ取り敢ヘズ、日本トハ解決スルト云フコトヲ支那ノ責任アル官憲ガ申シテ居ッタノデアアル、而シテ言フ迄モナク南京事件ニ於テ我國ハ支那側ニ對シテ砲撃ヲ加ヘナカッタ點ヲ非常ニ支那側ハ多トシテ、日本ニ對シテハ出來ルダケ好意ヲ以テ此問題ノ解決ヲスルト云フコトヲ言ッテ居ッタノデアリマス、從ヒマシテ今日既ニ解決シタ列國ヨリハ劣タ條件ニ於テ我國ガ南京事件ヲ解決スルガ如キコトハ想像シ得ナイノデアリマス、從テ今後ニ於テ政府ガ南京事件ニ付テ解決サレル場合ニ於テ、恐ラク責任者ノ處罰、謝罪、賠償、保障ト云フガ如キ、此點ハ、必ズ得ラレルモノデアルト私ハ信ズル者デアリマスルガ

翻ッテ濟南事件ニ付テハ今申シマシタ通り賠償モ得ラレナイ、謝罪モ共同調査會ノ結果ヲ見ナケレバ支那ノ謝罪ヲ得ラレナイ、事ニ依レバ日本側ガ謝罪ヲシナケレバナラヌカモ知ヌト云フガ如キコトデ濟南事件ガ解決サレタトスルナラバ、此兩事件ヲ比較シテ見テ何レガ外交上、我國ノ爲ニ利益ヲ持チ來シタ解決デアルカト云フコトハ、私ガ論ズル迄モナク明カデアリマス、然ルニ田中外交大臣ハ南京事件ノ如キコトガアツテハナラヌ、ドウシテモソレガ避ケタイガ爲ニ出兵スルト云フコトヲ言ハレテ出兵シタ、然ルニ南京事件ノ如キコトナカラシメンガ爲ニシタ其出兵ノ結果ハ、遂ニハ賠償モ得ラレナイ謝罪モ得ラレナイト云フコトニナツタ、是ハ誠ニ皮肉ナル結果デアルト思フ、

從テ今日ノ場合、濟南事件ノ解決ノ内容ヲ政府カラ發表セシメラレルコトハ困難デアリマセウガ、萬一私ノ想像スルガ如キコトデ解決サレタモノデアルトスルナラバ、政府ノ責任タルヤ一層大ナルモノガアルト云フコトヲ私ハ茲ニ申スノデアリマス、尙ホ御答辯下サルモノナラバ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君) 只今又矢吹男爵カラ色々ト御尋デゴザイマシタガ、私ハ今迄申上ゲタコトデ私ノ答ヘヤウト云フコトハ盡キテ居ルト思ヒマス、畢竟スルニ矢吹男爵ノ御考ハ、行政權ヲ拋棄シタト云フ御斷定ノ下ニ、法理上ノ理窟ヲ以テ御責メニナルト思ヒマス、私ハ先刻モ申シマシタ通りニ是ハ相互的慣例ニ依ッテ居ル事柄デアルカラ、サウ之ヲ重大視スル必要ガナイト認メマス、斯ウ云フコトニ結著スルノデアリマス、此以上彼レ此レ申シマシタ所ガ恐ラク盡クル所ガアルマイト思ヒマスカラ是デ私ハ御答ヲ終リマス

○男爵矢吹省三君 私ハ是デ質問ヲ終リマスガチヨット一言申シテ置キマス、只今ノ陸軍大臣ノ御答辯ハ行政權ヲ支那側ニ讓ッタモノデナイ、行政權ヲ放棄シタモノデナイト云フコトヲ前提トシテノ御答辯デアアル、併シ陸軍公報ヲ見レバ此點ハ明カデアリマス、若モ言フガ如ク行政權ヲ讓ル意思ガ無カッタトスルナラバ、左様ナル公報ノ如キ文句ハ書キ得ナイノデアリマス、從テ陸軍大臣ハ今日ノ場合行政權ヲ拋棄シタノデハナイト仰シヤツテモ、公報ヲ能ク御覽ニナツタラバ、恐ラク其御考ガ間違ヒデアッタト云フコトガ御分リデアラウト思フ、又世間ハ此公報ヲ見テ左様皆思ハナイノデアアル、陸軍大臣ガ仰シヤルヤウニ思ハヌノデアリマス、デ私ハ重要ナル我が權利ヲ拋棄シタモノト見ル以上、此場合ニ於ケル守備隊長ノ責任ハ重大デアリ、同時ニ又陸軍大臣マデ責任ガ及ブモノト斷言スルノデアアル、假ニ又陸軍大臣ガ言ハル、如ク委シタモノデナイ、斯ウシタ所デ我軍ノ守備シテ居ル時ニ斯様ナル重大ナル事が起タト云フコトハ、我が陸軍ノ名譽ノ上ニ於テ實ニ遺憾ナコトデアリマス、又我が軍機保全ノ上カラ言ッテ恥シイコトデアルト思フ、此點ニ付キマシテ何レ

ノ場合ニシロ、委シタ場合ニシロ、委サヌ場合ニシロ、陸軍大臣ニ重大ナル責任アリト私ハ斷定スルモノデアリマス、併ナガラ是レ以上質問ヲシ應答ヲ重ネテモ同ジコトデアリマセウカラ質問ハ止メマスルガ、私ノ左様ニ申ス信念ヲ動カスニ足リル御答辯ヲ聽キ得ナカタコトヲ遺憾トスルモノデアリマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今ノ矢吹男爵ノ重ネテノ御質問、大體御意見ハ承ハツテ置キマスガ、唯一點私ガ申述べテ置ク必要ガアル、南京事件ハ濟南ノコトアルガ爲ニ解決シナイノデハナイト云フコトヲ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、南京事件ノ解決ノ今日迄延ビタト云フコトハ、此解決ヲ機會ニ、其解決ノ文中ニ他ノ條約ノコトヲ一緒ニ此中ニ書加ヘヤウト云フコトノ問題ノアツタ爲ニ、今日マデ延ビテ居ルト云フコトヲ私ハコ、デ申シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 此際、諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、矢吹男爵ノ質疑ハ濟シタト認メマス、故ニ次ノ通告者菅原君ニ發言ヲ許ス筈デゴザイマスガ、菅原君ノ質疑ハ極メテ長カラウト議長ハ想像イタシマスカラ、菅原君ノ質疑ハ次回ノ會議ニ延バシタイト考ヘマス、而シテ衆議院ヘ送付スベキ法律案ガ日程第二ニゴザイマスカラ、諸君ニ於テ御異議ガ無ケレバ此際、日程第二ニ移リタイト存ジマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、明治四十年法律第十一號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、副委員長川村伯爵ノ登壇ヲ求メマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

明治四十年法律第十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年一月三十一日

右特別委員長

侯爵 德川 圀 順

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵川村鐵太郎君 明治四十年法律第十一號中改正法律案委員會ノ結果及經過ヲ私ヨリ御報告ヲ申上ゲマス、此委員會ハ二回開キマシテ、内務大臣ヲ始メ政府委員ノ出席ガアリマシテ、詳シク説明ヲ承リ、又委員諸君ヨリ種々ナル質問モゴザリマシタ、此癩豫防ニ關スル法律案ノ第七條ノ……第四條ノ二ト申スノハ、療養所ノ所長ニ懲戒檢束ノ權ヲ與フルモノデアリマス、此處ニ國立癩療養所ト云フモノヲ加ヘマスコトハ、國立癩療養所長ニ同ジク權限ヲ與ヘマシテ、檢束懲戒ノコトヲヤラセルト云フコトニナツテ居リマス、是ガ第一ノ改正ノ點デアリマス、第二ノ點ハ國立癩療養所ニ收容シマス所ノ癩患者ハ、勿論公費ヲ以テ救護サレルノデアリマス、其他ノ癩患者及同伴者、同居人ハ聯合府縣ノ療養所ニ於テ一時的救護サレルノデアリマス、之ヲ明瞭ニ致ス爲ニ此處ニ改正ヲ加ヘラレタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ノ明細ナル説明及質問ニ對スル答辯ガアリマシテ、採決ニ當リマシテ何等ノ議論ナク全會一致ヲ以テ案ハ承認サレマシタ、是ヨリ御參考ニ質問ノ内容ニ互リマシテ、唯其概略ヲ私カラ申上ゲマシテ御參考ニ供シタイト存ジマス、全國ノ癩患者ノ總數ニ付キマシテ質問ガゴザリマシテ、保健調查會ノ審議ニ基キマシテ、内務省ハ警察官ヲ以テ、全國ニ互リ一時ニ調査ヲ致シマシタ結果ト致シテ、ソレハ十四年デゴザイマスガ、一万五千三百五十一人ノ實數ノ癩患者ヲ擧ゲタノデアリマス、其中ニ資力ノナイ無資力者ノ癩患者ト云フモノハ、殆ド一万人バカリゴザイマス、又徵兵檢査或ハ死因統計ノ上カラ推定ヲ致シテ見マスルト、略三万人バカリノ數ガ出ルノデアリマス、故ニ此警察官ノ調査シマシタ所ノ癩患者ヨリモ、實數ハ少シク多クハナイカト云フコトデアリマスケレドモ、元々斯ウ云フ調査ト云フモノハ、癩患者ハ免角隱蔽ヲ致スモノデアリマスカラ、頗ル調査ハ困難デアリマス、サウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ四十二年此法律ガ發布サレマシテ、其結果ト致シテ全國ヲ

五部ニ分ツテアルサウデアリマス、各一箇所ニ付テ療養所ヲ一箇所ヲ設ケテアル、全國ニ即チ五箇所ノ癩患者ノ療養所ガアルデアリマス、此療養所ハ漸次擴張ヲ致サレマシテ、擴張工事ノ完成後ニハ四千五百名ノ患者ヲ收容スルコトガ出來ルサウデアリマス、而シテ其外ニ私立ノ療養所ト云フモノガアルサウデアリマシテ、是ハ全國ニ於テ六箇所、六百四十四名ノ定員ヲ收容スル事ガ出來ルサウデアリマス、斯ノ如ク各療養所ノ人數ノ殖エルニ從ヒマシテ、其中ニハ種々ノ惡癖ヲ持ッテ居ル患者ガアル、即チ盜癖デアルトカ、賭博ヲスルモノデアルトカ、逃走癖ヲ持ッテ居ル者ト云フモノハ、悉ク皆國立療養所ヲ作りマシテ其中ニ收容シテ、現在平和ニ療養所ノ中ニ居リマスモノヲ、平和ニ居ラシメタイ、而シテ一方ニ於キマシテ此國立療養所ノ中ニ檢束或ハ逃走ノ憂ヘノナイヤウニ致シテ收容スルト云フコトデアリマス、此國立療養所ノ場所ハ岡山縣ノ中ニ長島ト云フ島ガアルサウデアリマス、其島ニ昭和四年度ヨリ三箇年繼續費ヲ以チマシテ、其外ニ水道費ヲ……三箇年ノ繼續費ハ九十萬圓デアアルサウデアリマス、繼續費ガ九十萬圓、其外ニ水道ノ費用トシテ二十一万圓計上シテアリマスルガ、百十萬圓バカリノ繼續費ヲ以チマシテ、茲ニ國立療養所ガ出來ルサウデアリマス、ソレカラ此癩病ノ病氣ノ性質ニ付テ質問ガアリマシタガ、説明員ノ答辯ニ依リマス、癩病ハ全ク傳染ノ性質ガアリマス、千八百八十年、此學說ガ立チマシテ以來確定シテ居ルサウデアリマス、從テ最モ此病氣ニ對スル豫防ト言ヒマス、隔離其他患者ノ傳染性ノ汚物、汚水ノ如キモノノ處分ヲ完全ニ致スコトガ、最モ豫防上大切ナコトデアリマス、是ハ最近ノ學理ニ照ラシ、立派ナル設備ヲ茲ニスル積リデアルト云フ言明ガアリマシタ、ソレカラ第一條ニ規定セラレタル醫師ノ届出ト云フモノガ規定サレテアルガ、是ガ完全ニ行クダラウカト云フ質問ガアリマシタ、是ハ全ク其癩患者ノ醫師ニカ、ル機會ト云フモノガ少ナクアリマシテ、成ルベクナラ隱蔽スルト云フ事柄カラ、醫師ガ發見ヲシテ之ヲ届ケルト云フコトハ容易デナイ、ソレカラ此聯合府縣ノ各自分擔シテ居リマス所ノ負擔ト云フモノハ圓滿ニ行ハレルダラウカ、即チ五區ニ分レテ、其五區ノ中ニ幾ツ

カノ府縣ガ協同シテ居リマス、其負擔額ト云フモノハ圓滿ニ行ハレルデアラウカト云フ質問ガアリマシタガ、是ハ患者ノ數ニ依リマシテ負擔ヲ定メルト云フコトハ却ッテ弊害ガ出ル、故ニ其府縣ノ人口、負擔力ヲ考慮シテ負擔額ヲ定メテ居ッテ、何等ソレニ付テ不都合ハナイト云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ先程申上ゲマシタ患者ノ實數ハ殆ド一万五千ナニガシト云フモノノ中カラ、僅ニ五千人位ノ人間ヲ收容シテ後ノ者ハ其儘ニ殘ッテ居ル、病毒ヲ散布シヤシナイカト云フコトニ付テ色々御質問ガゴザイマシタガ、大正八年ニ內務省ガ同ジ方法デ、警察官ノ手ヲ以テ同ジ條件ノ下ニ調べマシタ實數ハ一万六千二百六十二人ト云フモノデアアルサウデアリマス、十四年ノ調査ハ一万五千三百五十一人ト云フ少ナイ數ニ出テ居ル、ノミナラズ各種ノ材料カラ推定スルノニ全ク減少ノ傾向デアルト云フコトヲ言明イタサレマシタ、質問ノ要點ハ悉ク豫防衛生ノ完成ニ付テ、幾多ノ方面カラ御質問ガ出タノデアリマス、先程申上ゲル通り此點ニ付テハ政府ハ出來ルダケノ研究モシ、又設備ヲ怠ラスト云フ言明デアリマシテ、以上大體質問ノ重要ナル點ハ先ヅ其位ノモノデゴザイマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス

○伯爵柳澤保惠君 委員長ニ簡單ニ伺ヒタイノデアリマス、癩病ノ調査ハ只今御話ノ如ク大正八年三月三十一日ト大正十四年十一月十六日ガ、大概御話ノヤウニ同ジ方法デ警察官ガヤッタノデアリマスガ、併ナガラ大正十四年ニハ患者ガ九百十人減ッテ居ル、是ハ甚ダ異様ナ結果ト思ヒマスガ、委員會ニ於キマシテ此數ヲ御覽ニナッテ、モウ一遍將來或時機ニ斯様ナ調査ヲヤルト云フコトヲ言明サレマシタカ、モウ大正十四年デ、打切りニスルト云フコトデゴザイマシタカ、ソコヲチョット伺ヒマス

〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵川村鐵太郎君 至極尤モナコトデアリマシテ、將來此先キノ調査ハ最モ必要ダト私ハ考ヘテ居リマスガ、委員會ニ於テハ其點ニ付テハ何等質問ガゴザイマセスデシタ

○伯爵柳澤保惠君 然ラバ內務省ノ當局ニ於カレマシテ、大臣デモ次官デモ

ドナタデモ宜シウゴザイマス、其點ヲモウ一應伺ヒタイ

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 只今ノ御尋デアリマスガ、此癩ノ患者ニ付キマシテハ御承知ノ通りニ傳染病ノコトデアルノデアリマスカラ、出來得ル限リ其調査ヲ致シ、收容スベキ者ハ收容ヲシテ、サウシテ此傳染ヲ防ガナケレバナラスノデアリマスカラ、是等ノ調査ニ付テハ此上トモ十分ナル力ヲ致ス積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 然ラバ確メテ置キマスガ、近キ將來ニ於テ同様、或ハ類似ノ方法ヲ以テ、癩ノ調査ヲナサレルモノト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) ヤル積リデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

午後四時十八分散會

